京城日報 (年中無休刊)

十二月廿九日夕刊 (朝夕刊併八頁)

日本委任統治抗議

巴里最高會議は濠洲及びニュージランドの南太平洋に於ける舊獨領殖民地の委任統治を決定したるが日本はこれを以て濠洲の統治よりも却つて日本に不利益なりとの理由を以て抗議する處ありたり(巴里電報)

米上院と妥協點

民主黨上院議員領袖ヒッチコック氏は曰く予は多數の共和黨上院議員の狀況を顧念して講和條約に關する意見を叩きたるが何れも何等かの妥協點に到達せん事を熱心に希望し居れり(華盛頓電報)

次期大統領強要
ジ氏を共和黨候補者として

カリフォルニヤ州選出上院議員ジョンソン氏は次期大統領選擧に於て共和黨の候補者として指名さるゝ樣強要すべき旨發表せられたり(紐育電報)

勞働首領集合

勞働首領約二百餘名集合し其內急進派に屬する者はゴンパース氏の起草案文に對し終日奮闘せり右條文は講和條約批准、聯邦判事を大統領より任命せずして公選する事通貨の收縮買り惜み防止を要求し不公平なる價額決定に反對す(華盛頓電報)

銀兩制度改正期

廿三日の財政委員會に於て英人シブソン氏の建議案たる銀兩制度を全部銀圓制度に改正する件につき討議の結果明年五月より實行することに決せり同時に南京造幣廠を上海に移し中央政府直轄となすことゝしたり(北京電報)

上海和議再開來年

北方代表王有齡、施愚、徐佛蘇の三氏は二十二日朝北京に向ひ王克敏氏等の二十六日北京を發し上海に來るを報じ且つ曰く北京の當局者は上海の和議は來年一月再會し得可しと(北京電報)

滿洲勸業計畫
資本金二千萬圓＝水田經營

滿洲に於ける水田經營を主とし其の附帶事業を營む目的を以て內地朝鮮滿洲三地の有力者發起となり今回資本金二千萬圓の滿洲勸業株式會社を設立する事となりその第一回發起人會は去る二十五日東京帝國ホテルに開會資本金並に名稱は前掲の如く決定し趣意書目論見書及び定款作成の件並に創立事務所は東京奉天の二ヶ所に置く事となり株式の配當は略左の如き振合を以て之れを行ふ事となれり

十萬株支那側、六萬株朝鮮側、六萬株在滿日本人、五萬株西宮關係者、三萬株中日實業、三萬株荒井關係者、三萬株東省實業、二萬株發備、二萬株公募

右事業には關東廳より年六朱乃至八朱の拂込資本金に對する利子補給あり朝鮮總督府にては事業地管轄外なるため補給は不可能なれど各種の點に於て會社に便宜と援助を與ふることゝなり居れり尙ほ同社計畫の現在に至る經過を聞くに今秋在鮮貴族並に有力者の間に滿洲水田の將來有望なるを觀取し資本金四五百萬圓程の水田會社計畫あり相當程度に進捗し居れる際去る十一月下旬同じく滿洲水田經營の計畫を懷し渡滿中なる倉知鐵吉氏と朝鮮側發起人加藤房藏氏は偶然相會して端なくも同樣の目論見を有せる事を知り合ひて茲に合同談を生じ更に倉知氏は滿洲に至りしに同地にも二個の水田會社計畫あり何れも同一目的のものなれば同氏の來滿を機として合同せんとの議熟し朝鮮側に於ても合同を勸誘し來りければ結局大合同をなし日鮮滿の企業を打つて一團とする事となり關東廳並に朝鮮總督府との交渉開始に進み委員會の協議となり明年一月九日創立委員會開催の豫定となりたるもの、由因に會社の目的は左の如し

イ、土地の經營並に水利事業
ロ、委託に依る土地の經營並に管理
ハ、水利土木事業の設計並に受負
ニ、不動產及び土地の權利を擔保とする資金の貸附
ホ、肥料農具種子その他物品の販賣並に貸附
へ、精米業
ト、農業經營資金並に農產品の金融
チ、其他必要の附帶事業

尙ほ本社は本店を奉天に置き各地に支店出張所並びに農場事務所を設置し株主は內鮮支人とし可成多數有力なる支那官民の株主を加へ眞の意義に於ける中日合辦とし兩國親善の實行を期すべく關東廳の補給もあり事業の將來は有望ならん發起人は左の如し

東京 橋本圭三郎、大橋新太郎、尾崎敬義、倉知鐵吉、安田善三郎、馬越恭平、藤山雷太、荒井泰治、若尾璋八
大阪 河崎助太郎、山岡順太郎、矢野慶太郎、松岡修造、愛甲兼達、喜多又藏、北川與平、下郷傳平
奉天 庵谷忱、枕石津牛治、西宮房次郎、勝弘貞次郎
大連 石本鏆太郎、相生由太郎、村井啓太郎
朝鮮 李完用伯、李允用男、韓相龍、趙鎭泰、白完爀、加藤房藏

豫算發表遲延

總督府來年度豫算は大藏省の査定後繰替に時日を要し遂に年內に發表の運びに至らず多分明春早々河內山財務局長の歸任を待ちて發表せらるべし

歳晩偶語
工藤知事談

本道は余の前々任地たる全羅南道に比し事業計畫及會社出願の多き事は素晴らしい者である之全く京城と云ふ一大消費地を控へ又財界四圍の發展上當然の結果とも云ふべきであらう尤も全南方面は本年は豐作の見込であるので自然會社銀行の出願もある樣であるが過般の旱害を被つた本道としては今後に於て影響を見ず無事經過と云ふ譯には行くまい水原郡振威郡方面は小成の被害を受けて居る尤も仁俠ある地主は小作人に貸金をなし居れり富救濟を講じて居る者もあるが各面に於て組合を組織して農事資金の借入をなす事其他相當の對策を講ずる必要はあるけれど被害者は餘りに救濟に依賴せぬ樣其本心に於ては何處までも勤勉努力して貰ひたい更に旱害救濟の爲め副業として繩叺製造も奬勵した本道にては繩叺品質の向上は之を叫して居るが一面には各地方々々で其使用に適應するものを製造せしむる必要も認めて居る然し本年は旱害の結果藁の品質宜しくないものもある故之等は繩叺の如き必ずしも品質の優良を必要條件としないものに向けて居る要するに旱害被害區域が狹少であれば隣保相助くるの方法によりて相當の救濟は比較的容易に行はれ得るが其被害程度が甚だしく且區域廣きだけに救濟方法にもしかく容易でない燃料問題も今後の朝鮮にとりて益々緊切なる問題である現時の如く石炭騰貴の必然の結果として水力電氣の計畫を生むことであらう

寺內伯襲爵

故伯爵寺內正毅家督相續人正五位勳五等 寺內壽一
襲爵被仰付

古市新男爵

技術界の長老として古市公威工學博士が長らく本邦工業界に貢獻したる功勞を思召され二十七日左の如く特に男爵を授けられたり同博士は當時相州湯本に於て靜養中なり

貴族院議員從三位勳一等 工學博士 古市公威
依勳功授男爵

騰落の轍二千丁
納會 仁川期米 出來高六千三百萬石

仁川米豆取引所は例年の如く二十六日を以て納會の撃柝を入れ先限の納會値段四十八圓參拾九錢で底堅く打進めたるが顧みれば一箇年間の米界の波瀾は眞に近來の珍變の跳きがあり開闢以來の珍高値と未曾有の出來高と而して取引所の破綻とは大正八年の三大記錄として米界史に特筆すべき新史を作つて居る本春一月の新甫が三月限三十四圓大ごたで生れ十二月の先限が四十八圓九錢で納會する迄最高五十圓七十錢から最低三十圓五十錢此間實に二千二十丁の大轍が出來て居る一箇年間此騰落を演じた歷史を見ると國民生活の不安を感ぜさせらる、も故なき譏である而も此最低卅圓五十錢は實に三月十七日當時の先限物五月限りに現はれた休場値段で正に取引所の致命傷とも云ふべきものは彼の荒木三巴の一派が當時盛んに買煽りを行つた時の大勢に抗し難く先づ大阪の崩れに棒下を演じて遂に憤死を遂げさしもの取引所一時にして破綻の憂目に逢ひ

怨みの安値

は實に本年中の最低値段三十圓五十錢である爾來二箇月の整理休場に紛紜返し漸く百萬圓の基礎を盛上げて六月一日復會するや米價は既に暴騰して三十八圓八十錢に生れ漸騰又騰を續けて四十圓五十圓となる遂に十二月二日當限に五十四圓七十錢と云ふ驚くべき米價の最高値段を出したのである、一箇年間の騰落の轍二千二十丁も開闢以來の出來事であるが大正八年の出來高は實に六千三百十九萬四百石全國を通じて未だ曾て其類を見ないと云へばとも一新記錄以て仁川期米の熟狂氣分が漲る、而して受渡を行つた石數が四萬八千四百石一日にして最高の出來高は十一月中に現はれた七十三萬何千石一箇月にして最も多きものは十一月中の一千百十四萬二千石と云ふ驚くべき數字を示して居る仁川期米も偉大なものである(仁川)

天機奉伺 電報

宇都宮軍司令官淨法寺師團長は天機何の電報を發し並に皇太子殿下に發電せり

陞叙

今回左の通り總督府職員に對して陞等の辭令ありたり

平安北道參與官 尹甲炳
慶尙南道參與官 崔廷德
平安南道參與官 李範來

陞叙高等官二等
總督府事務官 神野忠武
同(理財課長) 矢鍋永三郎
總督府判事 高木安太郎
同 五味逸平
同檢事 新藤寬三郎
同 堀勘治郎
總督府模範場技師 永岡榮
同 久次米邦藏
總督府道事務官 深尾道恕
總督府事務官(稅務課長) 須藤素
總督府道事務官 水口隆三
總督府醫院醫長 久德隆雄

陞叙高等官三等
總督府事務官 野拔直次
同(保安課長) 卜部正一
總督府技師 疋田玄輔
總督府判事 平田德太郎
同 土居侃夫
同 奧田勝太郎
同 多田吉弼
同 森井佐四郎
總督府林廠技師 丸山佐四郎
總督府道事務官 馬野精一
同 關水武
總督府道技師 末田新松
同 宮本政藏

陞叙高等官四等
總督府技師 大木盛三郎
同 伊藤門次
總督府判事 納村貫誠
同 伊藤孫太郎
同 下村三四郎
同 長谷部光雄
總督府檢事 川島利太郎
總督府典獄 國分萬次郎
總督府林廠技師 井部榮基
總督府郡守 金賓大
同 金翰殷
同 宋元燮
同 李駿陽
同 朴初舘
同 金瑞圭
同 李敬嘗
同 金晃秀
同 金禎泰
同 曹秉瑞
同 金東佑
同 崔泉鎭
同 兪弼秉
同 康元達
同 洪承均
同 金東恒
同 宋泰昇
同 金永斗
京城工業專門學校兼中央試驗所技師 小山一德
京城中學校教諭 西脇豐造
釜山商業學校教諭 北川勝次郎

陞叙高等官五等 ▲總督府判事根本成道▲同木村四郎▲同小松博美▲同檢事千綿榮六郎▲勸業模範場技師岩崎行商▲同府事務官寺島利久▲道事務官渡邊宇太郎▲道技師石塚峻▲同飯島寬一郎▲郡守金宇鉉▲同姜弼成▲同金亀淵▲同李承瓘▲同南宮營▲同金基燦▲光州農業學校教諭渡邊汀▲光州農業學校教諭佐藤行久▲晋州農業學校技師佐藤陽太郎

陞叙高等官六等 ▲道警視徐紀淳▲道技師土方鈕次郎▲郡守吳國泳▲同柳鎭赫▲釜山高女教諭佐伯建策▲同天野逸

陞叙高等官七等

仁川正米市場

米納會後正米の値頃觀區々にして商ひ殆ど皆無の姿に在り茲に三日來年明へ越さしては保合の商ひにあるも賣買雙方の間には些からず値頃觀を異にせる爲め更に取引行はれず至つて閑散なり一月の正米は先づ八圓五十錢前後に在り

大豆 亦內地不引合の爲に一向內地行はれず取引殆ど皆無の姿にて越年すべし

前府尹遺族轉移

故金谷前府尹遺族は過日來府尹官舍を引拂ひ南山町林田金次郎氏方に寄宿中なりしが二十九日午前旭町二丁目に移轉せり

會頭其他役員認可 (平壤)

平壤商業會議所會頭及び其他役員は[illegible]て認可申請中の處二十五日附を以て認可の指令ありたり

財界閑話

歳晩つまりはせぬかと危まれてゐた金融は谷川の水のやうにサラサラ行かぬまでも泥水の斜のついた滯の水位には流れてゐる▲然るに天公の惡戯のため稀有の降雪が市中の電話をつまらせ歳晩の商戰に一大障碍を來さすなぞは果して何の皮肉であらう▲商店では商賣も駄目ですよと云ひ銀行では事務の捌けに意外の困難があるとこぼしてゐる▲然し大節季の銀行は主動的と云ふよりも寧ろ受動的であるから取引先としては電話が通ぜねば自身ノコノコやつて行かねばならぬのでマアマア金融上のケチはつかずにすむらしい▲色々の意味に於て多事多端な大正八年も將に暮れんとしてゐる財界の大正八年は朝鮮の一新紀元を作つたと稱してもよい數字の上には各方面共膨脹急進の新記錄を作つてゐる▲此欄々書き初めて茲に約半歳本紙も三十日の號刊を納刊とするので本年は閑話子も筆を今日限りで納めやう▲九年の財界は諸種の點に於て八年よりも更に波瀾あり多忙だらうと思ふ從つて閑話子の扱ふ材料も多いであらうと期待し又密かに喜んでゐる▲茲に多忙な八年を送り更に多忙な九年を迎へんとするに對し愛讀者各位の健康を祈る

軍司令官全快

流行性感冒にて引籠り靜養中なりし宇都宮軍司令官は發病後の症狀益々良好にて殆んど全快したるも猶靜養の爲め一月三日迄登廳を見合すべしと猶元旦官邸に於ける拜賀者は例年の通り受くべきも右訪客は例年の通り受くべきも右の爲め幕僚交つて接待する事となりたり

平壤府と納稅 (平壤)

平壤府にては納稅徵收の關係上各官廳は二十九日より年末休暇なるも特に三十一日正午迄諸稅及び戶別割等の收納事務を執るべし

通信局新事業 (關東廳)

通信管理局の九年度新事業の重なるものは既報の電話增架二百五十萬圓を計上して來年度より四ヶ年繼續事業たる自動交換器据付け及び大連灣無線電信局の擴張及び設備改善等なるが無線電信局擴張工事は總豫算二十五萬圓にて二箇年の繼續事業なるが右は有線電信の故障、輻輳等の事情に鑑み大いに設備を堅ふる筈にして之れに要する材料は重に八幡製鐵所より仰ぐ事とし電柱の高さは三百尺、電力は三十五キロワットとすべく建設樣式は目下研究中なるが右完成の曉は海底線の缺を補ふを得ると共に航海中の船舶其他との通信上至大の便益を與ふるに至るべしといふ

全南釀造高

全南道の八年度造石高は淸酒製造業者十七名の造石四千石を最高とし內地式燒酎二千石に達す其他朝鮮人の造酒高は濁酒七萬三千石燒酎二千三百五十一石藥酒三百六十一石なるが內朝鮮式は何れも逐年品質向上をなし居れり就中淸酒は近時著しき優良品を釀造するに至れり

人事消息

▲有働帝哉氏(三等軍醫正)二十九日夜發步兵第四十五聯隊に赴任
▲安藤又三郎氏(京畿道警務課長)感冒にて引籠中の處全快
▲上田文三郎氏(東拓元山出張所長)二十八日赴任
▲石橋三郎治氏(東本社詰參事)二十八日夕赴任
▲渡邊鶴郎氏(殖銀秘書役)令息病氣の爲め引籠り中の處二十九日より出勤
▲中島司氏(殖銀理事)二十八日夜歸城
▲三島太郎氏(殖銀頭取)東上中の處別府溫泉不老町明治旅館別莊に滯在中

懸賞川柳
劍花坊先生

○腕力をもつて妓サンを從かへ
○利腕をこる妓サンの美くしさ 光化門 凡哉
○鈴辨へ腕力を出す三の面 龍山 死口
○春玉の正月國技館で勝ち 春川 道雄
○柔らい手に凝傑は押さへられ
○腕力は皿を投げるに妙を得る 大田 雲外
○喧嘩買先づ口上をいふて來る
○腕づくで來て條約見かへらず 平壤 泣坊

其の日その日

◇歳月は水の如く、年將に徂かんとす、年々歳々歳暮の歎は同じからざるべし。歳月我を待たざるの故を以て、己が志の伴はざるを歎み、さも言はざる所の多大なりしかの如く裝ひ、月並的歳晩の辭を草するが如きは吾人の潔しとせざる所也。一年三百六十餘日、其間必ずしも短しとせず、其餘りに早きを歎ずる者は、徒に虛ふ過らす、成るに急にして空しく日を過ごせしが故也。されば歳晩の歎は、己が平日の姑息を證明するものにして自ら己が無能なりしを表現するに過ぎざるものに非ずして何ぞや。

◇吾人は斯の歳に於て、敢て爲す可きを爲し居りたりとは言はず、而も爲さんとして爲し得ざるもの多々。年末に於て自ら顧みて己が爲せし事の餘りに少なきを恥ると共に、思ひ半ばに過ぐる志は、去來迎年の老ゆるも知らず、唯專念我能事を盡すにあり、又我本能を發揮するにあり。日月の去來は、凡ての物に向つて、改善進步を盡すべき一段階なる事を思はざる可らず。

◇吾人は歳月の去るに臨みて何等の遺憾無し、歎惜する所なし。否、獨り歎惜せざるのみならず、寧ろ其歳を送りて、我に一段の進境を得べきを喜ぶ。歳月の我等に敎ふるに、一日の進步を以てすべしと感ずるが故なれば也。大正八年は將に逝かんとす過二日、あゝ大正九年は如何。歳晩に感ずる所の最も深き時、其爲し得ざりし事を悔むの愚痴に非ず、進步したる己が事實の、如何に來る歳に於て見るべきかを樂むにあるのみ。

◇本紙亦歳末に當り、明三十日の朝刊を以て終刊となす、其の日子の諸君に見ゆるも、最早今日に於て終也。茲にペンを投じ、諸君と共に幾多新年を迎へ、更に筆硯を改めて相見ゆべく、終りに臨んで諸君の健康を祈る。

新鋭の氣當るべからず 字々飛動句々躍
出でたり 興味滿幅の新雜誌

新青年 新年號

東京市本石町 博文館 振替東京二百四十番

○新しき青年に檄する歌……白鳥省吾
○世界改造の第一年を迎へて……長瀨鳳輔
長篇小說 日米戰爭未來記 樋口麗陽
來朝せんとする 米國二大野球團 早大主將 山脇正治
海外新成功者列傳 秦光重君 力行會長 永田稠

特別附錄 次の戰爭
○永久の平和未し 法學博士 田中萃一郎
○世界政策と日米の衝突 陸軍中將 佐藤鋼次郎
○戰爭來るべき乎 米田實
○日本將來の位置 海軍中將 佐藤鐵太郎
○經濟上より見たる日米戰爭 法學博士 堀江歸一
○國際聯盟の無能力 文學士 樋山專太郎
○丹波篠山山家の猿が(漫畫) 大三 鈞
○(漫畫)デモクラシー 鈞
○(喜劇)人眞似大會 充英
○(漫畫)軍隊生活

懸賞小說 手筒返しの敵討 三浦貞雄
長篇探偵小說 白骨の謎 保篠龍緒
長篇科學小說 世界の終り 桐野馨花
長篇歷史小說 三浦安針 池田大伍
マスコット物語 黑猩々の芝居 福祿壽
四校對校競漕
冒險奇譚 南洋島の混血兒 山崎新雨
學生小說 煙草の吸殼 白石實三
內外時評 過激派の天下 暝天樓
日露戰爭の裏面に活躍せる 明石將軍 山本江東
新年號特別 三十錢 郵稅二錢

家庭雜誌 新年號
趣味實益雙絕 家庭唯一顧問

現代の要求する婦人(諸名家)
學生の制服廢止と家庭(諸名家)
口繪 廻禮……島成園
年頭感 澁原元一

新年に關する主婦の讀み物
○百人一首と國民生活 穗積
○代用食より食膳の改良 井上
客火鉢には石綿の早く柔かに物を煮る酒の燗の仕方お米を安く買ふには里芋入りのかき餅の經濟な風呂の沸き方の銀齋の創り方
□婦人の創造力を養へ
□總領には甚六が多いか
□骨食で健康になつた長女
□自分で出來る美顏術
□年始衣に汚點のついた時
□怖いものほど猶見たい

特別附錄
小說 紅い花 長田幹彥
歷史小說 南海夜話 額田六福
小說 彼女の秘密 德田秋聲
特價 廿五錢 郵稅二錢

(插繪小說)銀箭 細川花作 石井滴水畫
(名著物語)瀧口入道 高山樗牛作 伊原青々園
懸賞記事 記念すべき正月の思出(當選四題)
新案婦人國民服の仕立て方 戶板關子
血液と尿の檢査で胎兒の男女が判る
癌の全治法を發明した苦心談
歷史小說 親不知(第二回) 中野雲人
長篇小說 孔雀(第二回) 上司小劍
家庭で出來る 正月向の西洋料理

法人登記

金融組合設立登記
名稱安峽金融組合、主タル事務所、江原道伊川郡安峽面邑內里六百八拾五番地、目的組合員ニ對シ其經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付スルコト二、組合員ノ爲預リ金ヲ爲スコト三、組合員ノ爲メ生產上必要ナル物料ヲ賣付若ハ共同購入シ又ハ組合員ノ依託ニ依リ其ノ生產物ヲ販賣スルコト四、組合員ノ爲其生產物ヲ倉庫ニ保管シ之ニ對シ荷證券ヲ發行スルコト五、組合員ニアラサル者ニシテ組合ニ加入ノ豫約ヲナシタル者ノ爲組合ノ出資口數一口ノ金額ニ達スル迄及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人ノ爲貯蓄ノ爲預リ金ヲ爲スコト六、朝鮮殖產銀行ノ代理トシテ其業務ノ媒介ヲ爲スコト七、地方金融ノ調節ニ資スル爲ニ命令アリタル業務ヲ營ム 業務區域 江原道伊川郡安峽面、東面、西面、伊川面、樂壤面、馬場面、乃文面 設立ノ許可ノ日 大正八年拾二月拾日 出資總口數九拾九口 出資壹口ノ金額 出資拂込ノ方法 出資壹口ノ金額拾圓拂込ハ一回トシ出資壹口ニ付金壹圓ハ設立登記以前ニ拂込ミ其ノ餘ノ金額八圓ハ剩餘金ヲ以テ拂込ム
組合長 江原道伊川郡伊川面泉岸里百四拾六番地 李殷
理事 江原道伊川郡伊川面泉岸里百參拾參番地 山田繁一
監事 江原道伊川郡西面大浦里百四拾七番地 尹秉
監事 江原道鐵原郡馬場面立石里百六拾九番地 韓淳
監事 江原道鐵原郡乃文面居里四拾參番地 元敬
右大正八年拾貳月拾九日登記
京城地方法院伊川出張所

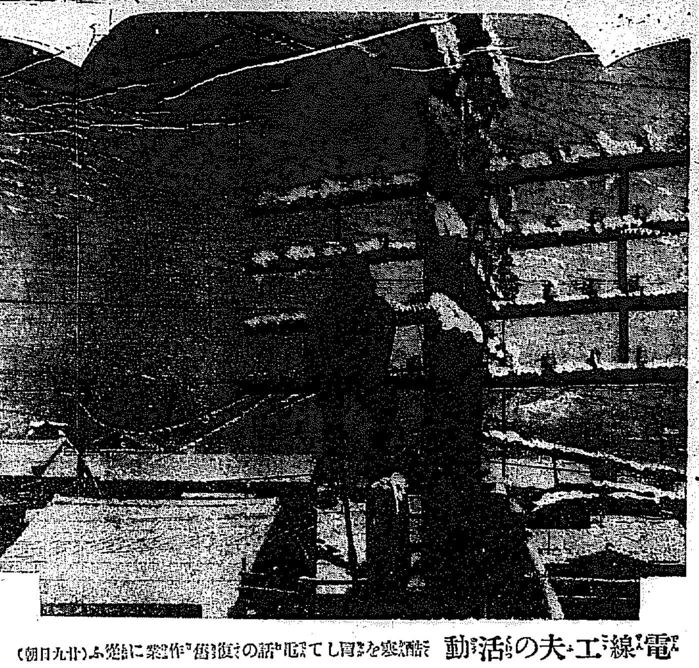
私儀今回東京本社詰を相成出發致し候に就ては一々拜趨御暇乞可申上の處病後其意を不得年賀儀以紙上在留中御厚誼を辱したる各位に奉謹謝候
十二月廿八日
石橋三郎治
和歌子

社員募集廣告
一、身體強健年齡廿九歲以上にして可成有妻の士を望む
一、甲種商業學校出身
一、甲乙種農業學校出身
一、甲種蠶業學校出身
一、以上會社商店等にありて實務に就事せしもの
一、確實なる身元保證人を要す
右若干名募集す希望者は至急履歷書送らるべし
大正八年十二月
全北裡里驛前
楠田商事部
朝鮮蠶業合資會社

喪中に付年末年始欠禮仕候
京城府鍾路町二丁目九五
池邊與三郎

告
一月一日午前十時半大和町京城在鄉軍人會分會集會所ニ於テ遙拜式並ニ勅諭奉讀式舉行候條御參集相成度
帝國在鄉軍人會京城分會

旅行中に付年始の禮を缺く
平壤水玉里
田代英作



電線工夫の活動 寒氣を冒して電話の復舊作業に從ふ（廿九日朝）

貞淑の譽高かりし
逝ける谷村聯隊長夫人 有名な谷村計介氏の養女

平壤步兵第七十七聯隊長谷村定親大佐夫人サチ子（四三）が流行性感冒にて永眠せる事は既電の如くなるが生前のことに關し川添平壤小學校長及び小籔聯隊副官夫人は涙ながらに左の通語れり

△勤儉と質素 （一、小籔聯隊副官夫人の談）家庭教育に熱心 聯隊長樣と同じ宮崎の方だそうで聯隊長樣のお邸に嫁づかれてから十九年になると被仰つていらつしやいましたお子達は十六歳を頭に五人いらつしやいましてどれもお小いのは未だお膝下です御生前令夫人は將校夫人會の副會長、愛國婦人會の副支部長等をお勤めになつていらつしやいましたが常に勤儉と質素と云ふことにお心掛けになつて婦人社交界などには餘りお出ましになりませんでした令夫人の趣味としてはお子達の教育に專心力を盡されたと云ふより外はありますまいもう奥樣の温かなお言葉を聞く事が出來ぬかと思ひますとまるで斯う胸を鐵板で壓へられるやうな氣持が致ます

内助の功多し 華美を好まず 川添平壤小學校長談 谷村家は日向高鍋の藩士にして過ぎし西南戰爭に有名なる谷村計介の一族で谷村大佐並に亡夫人共に谷村家の人である、私は子供の時より聯隊長夫人と良く知り合の者である今回夫人の亡くなられたと云ふことに就いては誠に哀悼に堪へぬ次第である夫人は宮崎高等女學校卒業後小學校教員をしてゐられたが日露戰役前大佐の處に嫁いで爾來十有幾年間賢夫人として内助の功も多く夫人は若い頃から華美な風を嫌つて軍人の妻として誠に質素貞淑の龜鑑とも云ふべき人であつた我々は同郷の故を以て云ふのではないが流石に故谷村計介の名譽を後世にまで維持する人であると固く信じて喜んでゐたのであるが今回早世せられたのは返すぐも遺憾に堪へない次第である夫人は當年卅六歲長男は平壤中學校の二年級である』

年末金融所感
大田組合理事 大野生

……感熱を冷却せしめ稍もすれば商況不振に陷らんとする傾向なきにしも非ず年末當面の當資を如何に……

電話は何時復舊する？
工兵應援として出動 年內には開通覺束なし
總員二百四十名必死に活動して居るが

稀有の降雪の爲め最も甚だしい被害を受けたのは通信機關であるが中にも電話線は既報の如く七分通りは不能に歸して此年末の繁忙期だけに商家の受ける打擊は夥しいものがある。市內電信電話の復舊に就て京城郵便局では全員勤務に服し遞信局からも應援を派遣し病臥中の服部局長まで病氣を犯し出勤して督勵に努めて居るが何分にも全線に亘る被害なのと寒威酷しき雪中作業の意に任せぬ爲め到底一兩日では復舊の見込はないとの事である。然し工務課では是非年內中には開通を計りたいと平壤其他の各地から應援工夫を召集し更に工兵隊から工兵十八名の援助をも得て總員二百四十餘名を十班に分ち各方面に分れて着々復舊に努力して居るから天候の工合が好ければ存外早く復舊するかも知れぬ、市外電話は仁川、龍山、開城、平城、水原、議政府六部を除く外は全部不通である之も極力復舊に努めて居るが開通は今の處未定である

仁川の雪
積む事六寸 通信線不通

二十七日夜より降り出した雪は終夜紛々として絕間なく仁川は二十八日朝積雪六寸に達した古老は之を十數年來の雪だと云つて居る之が爲め市中電話の被害を蒙れるもの多く電話線の切斷不通となりしもの百餘線に達した（仁川）

積雪四尺 京元線三防

二十八日降雪の爲め京元線三防驛の如き積雪四尺に達し構內排雪困難の爲め前日福溪發元山行列車は客車及び緩急車各一輛を同驛に殘して發車せり

電信線全部不通
但し京城以南

夜來の大雪にて京城以南の電信線路の大障害を蒙り左記の如く主要なる回線不通となりたるを以て目下極力復舊努力中なり ▲東京京城一番線▲京城下關線▲京城釜山線▲仁川京城木浦線▲京城清州線▲京城光州線▲京城大邱線▲京城晉州線▲京城大阪線▲東京京城二番線▲京城群山線▲京城大田線▲京城鳥州線▲京城春川線▲京城大邱二番線▲仁川京城小壞線

電報を汽車で送る
鐵道側の被害

二十七日夜來の降雪にて鐵道用電信線は龍山よりの各線殆ど全部不通となり通信一時杜絕せしも廿八日朝より漸次恢復して廿九日に於ける現狀は元山方面の各線及び龍山安東間の一回線並に平壤迄の各線は辛うじて通信し得るに至りたるも京釜線方面は今猶各線共不通にて通信の途無く電報は之を車送しつゝありと

學生が臨時雇に
京城局で甲斐々々しく働いて居る

京城郵便局では年末年始の郵便物輻輳處理の爲め過般學校生徒を臨時手傳ひとして募集したところ東洋協會京城中學校其他の學生で約三十人の志望者があつたので學校が休業になると直ぐ採用し同局郵便係は係員が之と共に出て三十餘名の手傳學生と共に山と積まれた年賀郵便其の他をドシ〱と處理してゐる、聞けば手傳學生一日の收入は一圓十九錢になる相であるから年末年始で十日間働くとすれば約二十圓の收入となるので學生の小遣ひ取りには適はしい仕事である。

益激し
平壤の流感

平壤に於ける流行性感冒は其後漸次猖獗を極め府內各戶に一人平均を算する狀態なるが府當局の調査によれば二十二日より廿七日迄の六日間に死亡者二百九名に達し尙重症者逐次增加の模樣なるより人心恟々たり（平壤）

危險を脫す
軍參謀長病狀

流行性感冒にて引籠り靜養中の大野軍參謀長其後の容態は經過良好にして廿九日朝脈搏八十九熱卅九度なりしも將軍は元來强壯の爲め危險症を脫し目下の處憂ふるに及ばず併し全快迄には尙多少の日子を要すべしと

新年の仁川
府廳拜賀式

一月一日仁川府廳に於いては午前九時より府廳員の拜賀式を行ひ同十時より十一時三十分まで例年の通り一般市民の拜賀を許すべし

各學校 は何れも午前十時より講堂に於て四方拜の擧式及び御眞影拜賀勅語奉讀式の如く元旦を壽ぐべし

仁川神社 は恒例に依り卅一日午後六時より大祓式を行ひ一日午前十一時より嚴なる歲旦祭を執行し更に三日午前十一時より元始祭を行ふべく氏子總代各官衙職員其他の參拜あるべし

名刺交換會 一日正午十二時仁川俱樂部に於て新年祝賀名刺交換會を擧行三百名の官民は 陛下の萬歲を三唱し新春の祝詞交換祝盃を擧ぐ可し（仁川）

獨逸俘虜が朝鮮で農場經營
五萬圓の資金で千五百町步を二年間で理想的に開墾の計畫 來春早々から著手

名古屋俘虜收容所の獨國俘虜五百名は愈々解放される事になり先發隊は既に歸國の途に就たが俘虜中獨人カルクブレンナー、ゾンマラット、サイフエルト、シユワルツ、ハツセルバツハの五名は今度解放と同時に愛知縣の社員となつて朝鮮に渡り一大農場を經營する事になつた産業會社が此等俘虜を傭ひ入れるに就ては前記五名が本夏來北海道に一千町步農場の計畫を樹て獨人一流の綿密な調査で此の計畫を一覽した會社重役は大いに後援を與へ現下人材拂底の折柄とて進んで資金五萬圓を貸與し一切の經營を彼等に一任したので場長格のカルクブレンナー氏以下は來春早々渡鮮する筈であるが場所は北鮮京城元山間の荒蕪地一千五百餘町步で平康機械農場と命名して大農組織として十五馬力の開墾機や諸機關運轉動力としては五十馬力の蒸汽機を据付け二ヶ年で前記千五百町步を理想的に開墾する計畫であると（名古屋）

娼妓の縊死
厭世の結果か

平壤賑町貸座敷笑福樓方抱へ娼妓高知縣大杉村生れ花蝶事河野はな（二三）は二十六日午前六時頃同樓樓横手背戶に於て縊死を遂げたり、同人は先月中旬頃より病氣にて客受悪く非常に悲觀し居たるが二十五日朋輩に『此世が厭になつた』と云ひたるより家人も萬一を慮かりて戒め居りしも二十六日早朝より姿を見せざるより樓主は大騷ぎして搜索したるも遂に發見せず廿七日朝支那人が肥汲に來り初めて縊死せるを發見したるものなるが前後の事情より察し多分厭世自殺ならんと（平壤）

巡査縊死
不治の病を悲觀して？

府內桂洞十五番地千葉十郎衛門（三二）は廿八日午後一時頃家人の留守中自宅に於て縊死し居たるを次女うめが歸宅の際發見大騷ぎとなり直ちに鍾路警察署に屆出たれば同署より警官醫師出張し死の上屍體は妻まさよに引渡されたり死因に就て聞くに十郎衛門は本年八月頃より肺結核に罹り勤務も怠り勝なりしが近來病勢加はり醫師も既に匙をなげ居たりと云へば多分前途を悲觀して右の始末に及びたるものならんとは署の談

前科八犯の萬引捕はる
龍山署の手柄

原籍鳥取縣東伯郡赤崎町四十三番地吾妻信治（三一）は十六七歲の當時より竊盜を働き一年二年三年と六年と殆ど內地朝鮮の監獄生活のみなせる前科八犯の曲者なるが本年十一月二十八日大邱監獄を出獄し直ちに京城に流れ込み本月一日以來京城又は龍山の年末大賣出に際し吳服店に入り店員の隙を窺ひ各所にて萬引し龍山市內數所の質屋に入質し元町二丁目瀨戶旅館に何食はぬ顏して投宿中を龍山署の手に捕へられ二十七日檢事局に送られたるが重なる被害者並に被害品は本町一丁目三中井吳服店の御召反物一反價格金五十四圓本町三丁目岩見吳服店の高貴織三反價格七十圓元町二丁目植西吳服店の銘仙反物價格二十三圓等なり

日本銀貨の密輸出
を企て支那人數名引致さる

門司稅關にては支那人數名が日本銀貨の五十錢及び二十錢等取混ぜ約數千圓其數一萬個以上を買收し表面は麥酒箱の如く假裝し麥酒瓶の間に詰込廿六日門司寄港の汽船にて密輸出を企てんとするを發見し二十七日犯人嫌疑者の家宅を搜索し嫌疑者を引致取調中なるが長崎方面にも關係ある模樣なりと（門司特電）

誤解の裡に生涯の幕を閉ぢた若き教育家
高等女學校の柴野教諭
廿九年の短生涯、飽迄眞劍な思想家 女子教育に正しい理解を

南山町永德旅館樓上の一室で、眞見夫妻と同僚職員の手篤い看護の裡に睡るが如く逝去した、京城高等女學校講師柴野秀夫氏は、生れて二十九年、思索の中に終始した若い哲人であつた。大正七年早稻田大學史學社會學科を出で、育英事業に身を投じてからも、氏は飽迄眞劍な思想家であつた。氏の教育は從來の型に箝まつた教育ではない。眞面目な學究の徒であつた。若やいだ世界、自由な世界愛の世界に生徒と共に飛び出して、自由な且つ正しい道を說き、學を勸めて孜々として怠らなかつたのである。世間では兎もすると、氏は教育家には適して居ないとか、教育家ではないとか罵つたが、それは型に箝まつた古い教育家が、眞の自由な新しい教育家を目して異端者と云つたやうなものである。氏の生前を取卷いた幾多の批難は、寧ろ氏の爲めに云はれたものでなくて、古い頭の捉はれ教育者の泣き言である。氏に面晤した人は誰でも氏の眞摯な態度に感動されないものはない。幾多の批難はすべて氏を見ない人達から出て居るのである。女子に對する教育家は擧つて、教師と生徒との性の區別がある事が、女子の教育の徹底を期し得ない一因であると云つてゐる。然らば彼等が此自覺せる、此不徹底を如何に取扱つてるのであらうか。現に女子教育の任にある男教師は、すべて此不徹底を其儘にして避けてるのである。卑怯なのである。此點で我が柴野秀夫氏は百尺竿頭一歩を進めてゐたのではあるまいか。氏は新潟縣刈羽郡の人、越南義塾の漢學の師を父として眞面目な、敬虔な家庭の教養を受け學業を終つた人であるので、氏は基督教の洗禮を受けてゐた。神を信じ、決して悶ねてはゐなかつた。惱んではゐなかつた。逝くに際しても靜かに息を引き取つたのである。氏は短い二十九歲の半生を誤解されながらも、自分の所信に向つて勇往邁進した若い思想家で、然かも自由な正しい人であつた。其人今や亡し。哀しい哉（テルミ生）

消防出初式時間變更

京城消防出初式は既報の如くなるが其後集合及び點檢時間を左の如く變更されたり
集合 午前八時三十分
點檢開始 午前九時

忘年歌留多會

京城美矢飛會主催の忘年歌留多會は廿八日午後一時より京城俱樂部樓上で擧行された生憎の雪が激しく降り出したので來會者は減切り少く美矢飛擧星の勇將連十數名に過ぎなかつたが一同火の出るやうな猛練習みて纏けつゝ雪の半日を暮したとか當日の優勝者は一等高谷 二等村田 三等谷口 四等寺尾 五等古江 六等久木田で本社寄贈の銀牌は高谷村田兩氏の手に落ちたり

大邱名刺交換會

大邱の官民は一日午前九時より大邱公立尋常高等小學校講堂に於て名刺交換會擧行する筈

釜山行延著

廿七日午前五時五十分釜山着の急行列車は水同附近にて機關車に故障を生じ秋風嶺驛より貨物列車の機關車を派し應急補充し發車したるが爲めに約二時間延著し貨客の連絡を缺き定時關釜連絡船は出帆せり（釜山特電）

給仕貳名採用
（身元保證人を要す）
京城日報社

充實す
賣上は日々增加の一方 公設市場

府營の公設市場は着々充實し二十九日中には明治町も鍾路も全部賣店が出揃ふ筈である二十五日の賣上高は明治町は千四十二圓二十五錢鍾路は千二百五十六圓合計二千二百九十八圓二十六錢にして二十六日は明治町が千四百六十一圓鍾路が千五百二十七圓合計二千九百八十九圓あつた相な、明治町市場では二十八日より米の販賣を開始したが上白米一斗市價五圓六十錢の分が五圓五十錢、糯米一斗市價七圓五十錢の分が七圓卅錢で六ふ値段である

天然痘發生

大邱府東本町松本糸子（二）は二三日前より發熱を來し症狀に多少の點あるより江崎醫師を招き診斷を受けたる結果天然痘と決定したるより患者は直ちに隔離病舍に收容し附近及び患家は直ちに嚴重なる消毒を施したり（大邱）

貨車脫線

二十八日午前十時半頃平壤發新義州行き混合第三號ポイントを觸出其儘送信の爲め貨車三輛脫線したるが午後三時四十分復舊せりと

流感死亡者

流感死亡者數は府廳御用納めの爲め精確には知る事を得ざるも廿八日は午前中に入合計百四十一人廿九日は午前中だけにて約五十人に達せり……

寺田檢事夫人

京城覆審法院檢事寺田恒太郎氏夫人清野子は流行性感冒に罹り二十九日永眠せり葬儀は內地より親戚來着の上決定すべし

○花田重雄氏夫人逝く 京管局出納係主任花田重雄氏夫人やそ子（二九）は先般流行性感冒に罹り靜養中の處急性肺炎を併發し二十八日午後六時永眠せり葬儀は途中行列を廢し二十九日午後四時龍山大念寺にて營みたり

○入舩訓導の訃 平壤女子高普小學校訓導大塚アヤ子は豫て流行性感冒に罹り療養中なりしが二十六日夜途に死去したるを以て二十七日午後二時より日本メソヂスト平壤教會に於て葬儀を執行したるが生徒總代鳥居シヤコの弔詞は參集の會葬者をして一層哀悼の感あらしめたり（平壤）

演藝
▲壽樂館 正月一日より 特別興行
▲人情悲劇『三十年の後』全四千呎
▲終編第四『水戶黃門諸國漫遊記』

灯頃

降雪の爲め電話線が切れて地上に垂れた絲の如くに垂れたのを鮮人の或者が鋏を以て叩き切つて盜んでるのを見かけた▲工夫が電柱に登るには鐵の足かけに據るので手が凍りついて離れない無理に離すので掌がバリ〱と剝して赤くなる▲さりとて手袋も用ひられぬ日に二三十回も登り降りをすると全身の知覺がなくなるとは困つたに俛する▲降雪の爲めに思ひがけないお正月をした交換姬の目く『斯うなると電話の有難味がわかるでせう』

廿八日朝入港新羅丸二三等船客 ……

天氣
曇但少雪

謹告
拜啓各位益々御多祥奉賀候陳者弊社牛皮ノ御取引ニ就テハ多年不一方御引立ヲ蒙リ難有奉謝候然ル處先般設立相成候東洋畜産興業株式會社ニ於テモ牛皮ノ調製賣買ヲ營業ノ一部トシテ經營スルコトニ相成居候ニ付今回協議ノ結果專門的同社へ弊社ノ同事業一切ヲ讓渡致候間何卒將來共同社ニ御引立ノ程偏ニ奉懇願候右御披露申上候 敬具
大正八年十二月二十八日
京城南大門通二丁目 株式會社共益社
前陳之通リ今般株式會社共益社ヨリ同社營業ノ一部ナル皮革ニ關スル業務一切ヲ弊社ニ於テ讓受ケ候ニ就テハ專ラ誠實ヲ旨トシ從事可仕候間何卒共益社同樣御引立ノ程偏ニ御願申上候 拜具
大正八年十二月二十八日
京城南大門通四丁目 東洋畜産興業株式會社

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから……卸値が安いです……
京城本町二丁目角 古城賛化堂
電話一〇一一番 振替七三七番

有價證券現物賣買開業披露
京城府永樂町二丁目二四
金加商店
電話一五八八番 電信略號（カ）又ハ（カネカ）
多少ニ不拘御用命被仰付度奉懇願候

今年の御歲暮に!! 最も現代的な贈物として好評ある パイン萬年筆に一決あれ
化粧 パイン 箱入

謹告
從來黃海道安岳本社を置き事業經營致來り候處今般都合に依り左記へ移轉仕り安岳に安岳鑛業事務所を設置致し候に付此段謹告仕候以上
大正八年十二月
朝鮮平壤府壽町九十八番地
麻生鑛業合資會社

況は兩銀行の金融緊縮方針に伴なひ砂川は頗る閑散にして殊に年末の下向き狀態は商賣率の思はしからざるが如し爲政者は此の窮合適當なる指導方針を怱にすべからず大田金融組合は大正の [illegible] 積寸の忍耐と努力を勵し居れり徒らに眼前に囚はれず世界の經濟狀態の推移に着眼し [illegible] 回收すべきものはその意味を了解せしめ以て收納し更に貸出す [illegible] るべからず

行路死亡 廿七日午後十一時頃光熙町一の八十一番地道路に於て住所不定朴順澤(三 [illegible]

連絡船上陸

ね、倉江要吉、同ちま、副島ケ年、同陸子、池田正男、三好善三郎、石瀬三郎、北山よす、持木正一、七條嘉太郎、同つね、富谷しけよ、長谷川元八、松木ぬい、同かき、田中光政、同彌與吉、中島吉枝、同しづ、同久夫、平野又工門、山西牛西告蔵、大前富三郎、佐藤清、中反太郎、吉田祝、石公吉之助、政代、學田預蔵、宮本庄蔵、宮崎政治、瓜生芳松、鈴木秀、牛田弘

禪堂生活（二十）
人間の改造

居士と書生

或日衲等は托鉢をして、中山手邊の或居士の家に立ち寄つた。此の家の主人は實業家で、多少禪に志があつて、時々座禪もする位の人であるから、動もすると雲水仲間で當てられることがあると聞いて居つた。先頃も副司寮の道兄が、諷經に行くと**獨園禪師**か誰れかの書いた『竹影堦を掃つて塵動ぜず、月潭底を穿つて水に痕なし』と云ふ七言對句の軸物を懸けて大いに吹いたことであつた。悲しい哉、吹かれた道兄は、當時まだ機關の三を見たに過ぎなかつたので、大いに當てられたらしい。衲も何か出るに違ひないと思つて居ると、果せる哉此の對句を以て、御突をやつて來た。然し此時の衲は、こんな

鈍刀位で 斬られるやうな鈍物ではなく、相當腹も出來て居つたので、遂に衲の方から吹き捲くつてやつた。主人公したゝか参つたので、心中凱歌を奏して、悠々として立ち歸つて見ると、一人の青書生が來て、雲さんを大いに討論をしてゐた禪學の研究をしたいから、老師に相見したいと云ふのであつた雲さんと云ふのは、却々の確かりものぢや。

其の書生

に向つて、『貴公は何の爲めに禪學をやりますか』と問ふと、精神修養にやるのだと答ふ。すると雲さんは『精神修養ならば、學校でやる倫理だとか修身で結構、何を苦しんで禪學を修めようとする、殊に禪は直覺的のもので世間並の學問と異ふのだ。多くの人は名聞的にやつて見る』と、牛噛りする、道には

斷見外道 に落ちる、而も此んな奴が却つて禪學の批判をやるのだ。止みねく〜といつてゐる所であつた。流石は努頭の雲さんだ、機鋒却々峻烈だナーと思つた。實際此頃はこんな運中が澤山居るから困るのだ。さて衲も知客寮に入つて、既に月餘、漸く馴れることは馴れたが、事務の多忙で却々疲勞れる。隙を見て少し坐つて居ると

睡魔が襲 ふて來る、居眠り工夫を持つて行くと又老師に叱られる。斯うなるとまた妄想が出て來る。斯んなに忙しくては、修行が進まぬと、愚痴をこぼせば、努頭の雲さんは、『古人も矢張り滿志踊行だな、昔八公も『動中の工夫は靜中の工夫に優ること百千億倍』といつてゐるまた

一休和尚 も『座禪せば四條五條の橋の上、往き來の人を深山木として』と云つてゐるではないか、腰を折らずに遣るべし〜と勵まされた。嗚呼此の肉體の勞働は、何が爲めにするものぞ、切に細行を愼んで大德を成ぜんが爲めである。吾は猶前途遼遠である。釋尊の

一麻一麥 の修行底を思へば、これ位の困苦は何でもない筈だ。自分も一度は嗚呼奇なる哉、一切衆生悉く如來の智慧德相を具有すと叫んで此の天門山を下る日があるであらうなど、あらゆる思ひに耽りつゝ、衲は九十日の知客寮を無事に勤了した。

不埒極まる大邱郵便局
通話の妨害と局長の無責任

釜山支局が常に其の職責上本社へ對し種々緊急事の報道を怠らざるは周知の事實にして主として迅速なる方法を選み長距離電話によりて郵便局より多少の便宜を享受しつゝあるは日頃深く感謝する處なりとす然るに今回大邱郵便局電話交換の任にある者我が社京釜間電話通話中に於いて

故意の妨害

故意に通話の妨害を敢てし尚之れにつき釜山支局よりの理由取調中申告の範照に對する向井田太邱郵便局長の無責任なる傲慢に至りては一般公衆の爲めよりするも默過不問に附するを得ず

釜山支局が毎朝例による市外通話申込により二十五日午前十時三十分京釜間（本社との）の通話を開始するや間もなく大邱郵便局電話交換係は連續的に呼出信號を始め爲に操雜し相互の談話聞き取れざるより

他局の注意

支局通話者は該係に向ひ一時中止方懇諭する處ありたるも依然として應ぜざるより釜山交換係員は十時五十分頃傍より大邱係へ注意を促す所ありたるも之を聞入れず尚一層烈しく呼出信號を行ふより京城及び大田の交換係は之を聞き兼ね交々注意する所ありしも尚應せず十時三十分より十一時三十分約一時間に亘り漸くにして三通話の通話を爲し得たるのみなり

勝手な回答

玆に於て釜山支局は此不埒極まる行爲に關し一應八木釜山郵便局長に口頭を以て顚末を具陳し後直ちに長文の電報を以て該郵便局取調方を向井田大邱郵便局長に宛て照會せしも當日は何等の回答に接せず漸くにして翌二十六日に至り文書を以て（二十五日附『電報申告者釜山京日支局龜井才蔵』に對し左記答文の通り傳達を乞ふ）と釜山局長を經由したる回答原文は

答、交換多忙の折柄約一時間に亘り通話を妨害するが如き餘裕なく且つ斯かる長時間妨害するが如き釜山局にて其儘に放置するが如き事なき筈何等かの行違ならずやと思料すとあり然れども以上記せる有のまゝの事實に照し大方の批判を乞ふも全く故意より出たる通話妨害と認めらるべきは當然にして如何に之れを糊塗せんとするもよくなし能はざるは恐らく京城、大田、釜山各郵便局に於る

執拗な妨害

當事の市外電話交換係の齊しく認知せる所と信ずるものなり適確として當日通話最中恰も當支局を訪問せる沼野某氏の如きは傍にありて餘りの事に『電話で頭がはられるものならうんと擲つて遣りたい』と他ならず他の同支局員共々觀點せるを見るも如何に故意的妨害の執拗なりしかを推斷するに難からざらん尙且つ向井田大邱郵便局長の答辯は餘りに取調方粗漏にして部下の言に信を措き過ぎたるの嫌ひなきにあらざるか此歲末に際し使用繁忙に當り一般公衆に及ぼす直接間接の損失は蓋し尠少ならざる者にして社會公衆の爲黙過するに忍びず此處に事實を掲げ以て當局の猛省と監督官廳の公平なる批判を得んと欲する者也（釜山支局）

徴兵受檢者注意
改正の要點

今回外國在住者徴兵檢査手續法改正の結果關東軍管下及び哈爾賓在住者の受檢手續も改正せられたるが其要點は從來は其職業は其願書を民政署、領事館（或ひは警務署）等に差出せしも爾後は願書二通を作成し其れに自己の寫眞一葉を添へ在留地の民政署、警務署或ひは領事館に出頭して與證明を受け之れを自己の希望する受檢地の軍隊宛に直接差出すこと一通は其一通に許可の指令を與へ明年三月中に檢査場に出頭すべき時期を記したる呼出狀を發せらるゝ事となる而して從來哈爾賓には身體檢査場の設けなく該地在住の者は公主嶺に於て檢査し來りしが新年度は哈爾賓領事館に於いて施行する事となれり因に關東軍司令官の管轄する檢査場は旅順、大連、遼陽、奉天、鐵嶺、長春、安東、公主嶺、哈爾賓、芝罘にして旅順は歩兵第三十八聯隊、大連は瓦房店守備隊、哈爾賓、芝罘は該地領事館にて施行すべく詳細は關東廳々報を見るべく尙ほ不審あらば最寄り民政署、警務署領事館兵事係等に問合すを便とすべしと云ふ（大連）

陸軍拂下地積
七十萬坪

滿鐵が代地提供する條件にて陸軍より拂下を受くる事となりたる地積は約七十萬坪なるが、目下陸軍の建造物其他未貸下契約の肉の油房工場其他附屬建物あるを以て、滿鐵の直に使用し得べきは約三十萬坪なるが、大體滿鐵の使用豫定地にして一般民間に貸附し得べきは漸く一萬坪內外に過ぎずとの事なるが、右地區に對する借受希望者頗る多き模樣なるが、當の責任者たる中川地方部長及び中西副社長不在なるを以て未だ貸附方に就いては決定し居らざる模樣なりと聞く處に依れば、土地利用の目的上、貸附條件としては借地權の轉貸或は轉貸を禁じ一定の期を附して、造營物の建設を爲さしむる事とし、且つ成る可く銀行、會社等の建設用地たらしめ度き意嚮の由にして之が決定を見るは來春中川地方部長の歸社後なるべしと（大連）

醫院長更迭（營口）

口滿鐵醫院長横森賢次郎氏は今回辭任せるを以て其の後任として四平街醫院長山公隆氏に內定し居りたるが山公氏は不幸にも中國病院に於ける慘禍の爲め荒井氏と同時に慘死を遂げたるを以て自然沙汰止みとなりしが其の後本溪湖醫院長白鳥文雄氏來任のことに決し不日着任の筈

執拗な妨害

〇大田の拜賀式（大田） 大田に於ては大正九年一月元日午前八時半より大田尋常高等小學校講堂に於て拜賀式を舉行し終つて午前十一時より同校に於て名刺交換會を開催する筈なり

〇府廳と拜賀式（釜山） 釜山府廳にては各學校に於て舉行さるゝ拜賀式に府尹代理として夫々臨場せしむる筈なりと云ふ

〇釜山御用納め（釜山） 釜山府廳及び各學校は二十七日を以て御用納め及び冬期休校の式を執行せり

痔疾專門
京城明治町二丁目（本町より入る中央）
京城久枝肛門病院
電話二一〇二番

鼠!!!
退治は今
不思議よくきく最も手輕な
鼠とり藥

廿錢の猫イラズは百五十疋の殺鼠力がありますから使用法は誠に手輕で安全でそれで鼠が腐敗せずにミイラとなる不思議の靈藥なり

猫イラズ

定價 一五一二三 十十十 錢錢錢圓

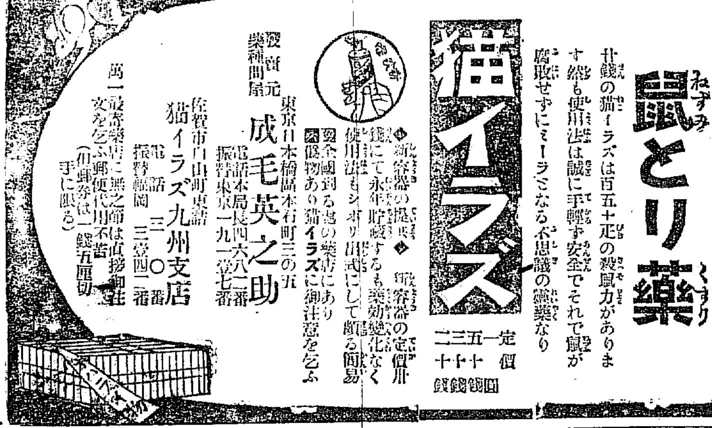
◆新容器の提供◆ 新容器の定價卅錢にて永年貯藏するも藥効變化なく使用法もシオリ形式にして頗る簡易

實全國到る處の藥店にあり 無代價あり猫イラズに御注意を乞ふ

發賣元 東京日本橋區本石町三の五 藥種問屋 成毛英之助 電話本局長四六八二番 振替東京一九一〇七番

佐賀市白山町東詰 猫イラズ九州支店 電話三〇番 振替福岡三三四二番

萬一最寄藥店に無之節は直接御注文を乞ふ郵便代用不苦（但郵券は一錢五厘切手に限る）



ゴム靴直輸入

目下在庫品
ゴム長靴
子供半長靴
オーバーシユース
ナガサキスリツパ（女衣裳）
アクチツク（防寒用綿紗）（ゴム底美靴止）

弊店儀ゴム沓類一式輸入販賣罷在候間何卒多少不拘御用命の程願入候

東京神田東紺屋町 ゴム沓一式輸入販賣 卸專門 北島商店 振替東京四三九五〇番

模造品續出す御注意

オキシパサー

本器は科學界の泰斗マイケルフアラデー氏の發見せる道理に基くオキシゲンを原理に利用して大氣中の酸素を人體に應用し治病療法に便利の器

脈搏の調整、感冒の根元、喘息の病、減退を強む、すなはち治療器の特效の中に物體に力を癒す多年の川威に有名なる病者に難治

効力永久にして代以外の薬品等の費用を要せず何等の危險にして便所人々供も容易に使用する者の毒こ を得婦人子供にも使用する

腸胃病、肺病、生殖器病、腎臟病、心臟病、神經衰弱病、肋膜炎、婦人病、性病等に効あり詳細は申込次第無料贈呈す

朝鮮總代理店 京城黃金町 酒本高明

定價金參拾九圓

本器の効力卓絶なると異常なる大發展と亂暴なる粗悪の模造品續出せり効力永久にして的確なる眞正の本器に御注意あらんことを切望す

東京麹町區有樂町一ノ三
大日本オキシパサー商會
電話本局二六九七・振替東京二三八二一番

時計貴金屬指輪眼鏡商
地方の御注文は代金引換にて送る
京城本町二丁目京城銀行前
三浦天龍堂
電話一〇〇一番 振替京城三〇四番

京城大和町壹町目
敏速 丁寧 至廉
みのや京染店
電話長一四六二・振替京城六三八

腦トはな
ぜんそくがナヲル藥
蓄膿症、鼻病、ぜんそくで種々藥を用ゐても効なく困難せらるゝ方は返信切手三錢添早速御照會あれ患者が知らねばならぬ食物のことからわけなく治る藥を何人にも無料で親切に敎へてあげます
東京芝區南佐久間町一 上山頓藥所

京日案內

普通一回前金 七十錢（但し名刺判） 番外一回前金 金壹圓二十錢
▲申込後中途掲載中止は料金不返戾の事 ▲六回以上の申込は特に割引の事

普通 ▲御報参上 ▲本町二丁目 日報社 電話 三二九五番 番外 ▲是非御試賣を乞ふ ▲古本熱心高價買入 群書堂

外勤社員招聘
高級希望者は午前中履歷書持參あれ
京城府黃金町三丁目二九一 太陽生命保險會社京城支部

△女集金係入用
廿四ヨリ四十五マデ保證人ヲ要ス月收五拾圓本人來談ノ事
明治町二丁目 岡村介石

●ほねつぎ
一切の治療御依賴に應ず
明治町 柔術道場

柳行李革鞄專門
京城本町三丁目 電話二四八二 但馬屋

▲不動產
抵當及貸付、金融一般信託、不動產
京城黃金町三 電話九八九 大島商會信託部

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剝製標本調製 鳥毛皮輸出 鳥毛貿易商 羽毛買入
京城本町二 電話長二〇六五番 勝元商行

新案獨學 イロハ辭典付
笹山章著 ウツボ屋書店發行
鮮語自在
並製 六十錢 上製 八十錢 送料 四錢
發行十ケ月余ニシテ版ヲ重ヌル事既ニ五回、以ツテ本書ガ如何ニ其內容ノ充實セルカヲ知ルニ足ラン……萬人必勝の鮮語ハ是！
發賣元 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

急告
一昨日來ノ大雪ニテ市內電話ハ不通トナリ輸送ハ意ノ如クナラズ年末ニ際シ御得意樣ノ御不便勘カラザル事ト奉上察候就テハ御注文受ケノ爲メ店員擧ツテ手分シテ御伺ヒ致シ且又配達モ極力迅速ニ最善ヲ盡シ居候得共尙不行屆勝多カラント奉上察候自然御注文何ヒ洩等有之候場合ハハガキニテモ御一報ヲ得ハ即時配達御屆可仕候ニ付精々御用命奉願上候不取敢御斷旁々右急告仕候 敬具

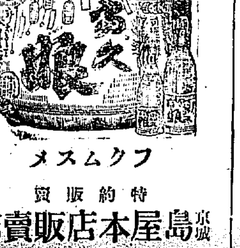
滿鐵撫順炭並ニ代用炭特約販賣所
京城 三國商會
西村商會

惡性感冒
全道に蔓延せんとす
注意肝要!!
天に聲あり
かぜねつに一番よくきく
キナピリン
を服め一服にてキ・メ現はる
本舖 大阪、東京 高橋盛大堂
定價 二拾錢 三拾錢 五拾錢 壹圓

赤心は
赤玉の贈物！歲末に年始に
健やかにして歡びあれと
この美味 滋養 葡萄酒！
赤玉ポートワイン

置けば置くほど品の良くなる赤玉葡萄酒

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門前）
入院隨意
酒井婦人病院
電話一八一〇番 一六〇〇番
酒井一郎

日本優等清酒
灘御影 花木本家釀造


フクムスメ
特約販賣
京城 島屋本店販賣部
電話九二〇番・三三番・二二四番

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千六百貳拾萬圓
總預金 參億五千萬圓
株式會社 第一銀行 京城支店
京城本町 振替貯金京城一番 電話二一番・三六番・二八四番
頭取 佐々木勇之助
支配人 竹村利三郎

▼氣温 (京城)

日の出		
午前七時	二十九日	三十日
日の入		
午後五時		

伊達騷動

小金井芦洲講演

第百三席

內膳正へ駕籠訴

借て二人は主命に由つて江戸表に罷り出で、御老中お月番を尋ねるこ久世大和守様であるこ云ふ、其處で第一番に此のお方に訴へ出でた、公用人の尾長千倶こ云ふ人が取上げた、追つて沙汰に及ぶこいふのです、奥州屋利兵衛方へ立戻つて待つて居るこ何時かな待てども何の御沙汰もない、今度は第二老の土屋但馬守殿へ訴へて出た、之も御取上げになつて何の御沙汰もない巧く握り潰し、第三老の稲葉美濃守殿へ願つて出る、是れまたお取上げになつた儀で御沙汰がない、是れは廣田求女、伊賀忠四郎も御主人安藝殿から吩咐かつた順序であるから月番から順を追つて願つて出ましたのだがお取上げにならない、噫、は最後に板倉內膳正殿へ願つて出るこ云ふこゝを申付けられて居ります、だからお取上げになつて握り潰しは致す可申したるこゝでございますから二人共更に落かない、サア、愈々今度は板倉內膳正殿へ御訴へこ云ふので、時は寛文十年十二月五日、八ツの御下城を待ち受けて駕籠訴こ云ふ段取りになりました、此の內膳正重信こ云ふお方は寛文五年十二月御老中役仰せ付けられました、時にお年が四十九歳、それから四年勤續になつて寛文八年に京都所司代に轉補せられた、所が十年に至つて又御老中に缺役があつて京都から召戻されて老中勤役こ成ました、けれ共是れは俗に云ふ遠り新参こ云ふ奴で、御大老が酒井雅樂頭忠清、一老が久世大和守、二老が稲葉美濃守、三老が土屋但馬守

寄る、木席が板倉內膳正、それですから伊達安藝は一番に板倉殿へお訴はしたいのですが順を取違へるこ云ふ事は宜しくないからお取上げにならないのを引つて居ながら故意こ外の方へ訴へて出た、却說寛文十年十二月五日八ツ時、例刻の御退出、時の閣老御出仕、御退出なぞこ云ふこ大手下馬先の形容は、夫りや高大なものでドーンドン〳〵〳〵こお櫓で太鼓を打入れるこ東西南北四方のお辻で一時にカチリ〳〵こ撃柝の音が起る、それに續いて下座觸れ制止の聲、ハイヨー〳〵〳〵こ云ふ掛け聲、閣老の出仕退出は凡て平素でも剋み供(駈足のこゝ)でございます、何故始終剋み供であるこ云ふのに平素事なき時に剋み供にして置かないこ事あつた時に剋み供で登城をすれば直世間に知れ渡るに由つて平素からの用意がしてあります、和田倉御門を出であれから八重洲河岸のお役宅にお歸りになる、今お役屋敷御門前まで掛つた時に道端の所に彼方此方こ見物をして居るやうに裝ふて居つた二人の若武士、鼠紗小紬織の上下、ぱら〳〵〳〵ツこ行列を目蒐けて駈け出して來た、お供の面々目早く認めて『是りや無禮であらうぞ、退れツ』忠『國家の一大事、板倉內膳正様、何卒御取調べの程を願ひ上げ奉りまするこ大音聲に呼ばはる、無禮傍『〇『無禮でござるぞ、退れ〳〵ツ』退れツ、求『恐れながら君家一大事、何卒板倉內膳正殿お採用の儀を願ひたう存ずる』再度大音聲に呼ばはりながらお駕近く〜進み是れは同じこゝでもお行

列の正面から顔つて出るこ一こもなく『無禮』こ云ふので事はを問はず、斬つて棄てられる、お駕傍から駈け出す分には大概は斬り棄てになるものではない、此時お乘物の內に在した板倉內膳正重信侯『待てッ』此の一聲が掛るこお供頭村雨彌右衛門『バラ〳〵こ夫れへ駈せ寄つて『控へませい、コリヤ訴訟人何事であるか、吾等は今日お供頭を承はる村雨彌右衛門こ申す者、願書持参ならば是れへ差出せ』忠『ハ、ツ、ア、有難う存じまする』こ思はず二人は嬉し涙を落した。

內科小兒科 皮膚花柳科
永樂醫院
院長 今村純義
京城永樂町二ノ七 西本願寺前
電話一九四四番

將棋新手合(三)

於京城黃金町三丁目二二五 滿呂木將棋所(電話二〇二八)

香落番

六段△滿呂木光治氏(京城)

三段▲熊谷順太郎氏(京城)

(圖は前號指了迄の局面)

△持駒滿呂木氏ナシ

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一	△香	△桂		△金		△金	△銀	△桂	△香
二		△飛		△銀			△玉	△角	・
三			△歩		△歩	△歩		△歩	△歩
四				△歩			△歩		
五	△歩	△歩	歩						
六				歩					
七	歩	歩	角		歩	歩	歩	歩	歩
八			飛	銀				玉	
九		桂		金		金	銀	桂	香

(以下次號)

△三八銀▲五二金△五八金▲六三銀△一六歩▲一四歩△六七銀▲九六歩(ロ)△同歩▲同香△同香△同桂▲九六歩打(ハ)△九八飛△六五歩△七六銀▲八六歩(以下次號)

滿呂木六段講評

(ロ)九六歩突きは六三銀さある時は不可なり此處五四銀七六銀八四飛さ指す方穏かにてよろし

(ハ)九六歩打ちは此場合不利なり此處九二飛九八飛九六飛五九角五四銀さより徐々に攻勢を採る方優れり

嬉しい贈物

別珍足袋

◇體裁が優美で
◇温情の籠つた
◇最新の實用品

心の籠つた贈り物程、お互に嬉しいものはありません、殊にそれが新しい品で直にお役に立つ實用品であつたら、言ふに云はれぬ温か味を覺ひます、そこで本年は是非歳暮年始の贈り物こして

◇別珍足袋 を御選擇なさいませ、昨年賣出したばかりですが時勢に適合した足袋こして既に天下一品の評判をこり上中流向きから花柳界で素晴らしい流行でございます、單に温かいだけでなく體裁が至つて優美で穿き心地がよく而して吃驚する程に丈夫な點がこの

◇別珍足袋 の自慢でございます、原料はコットンですが、之れを特殊の方法で加工した新織物で、見た目は殆んご絹天鵞絨の様で、優しい上品の光澤があり手觸りこ云ひ足當りこ云ひ、何こも言へぬ心持のよい足袋です、毛織物以上に温くて、丈夫の事も普通足袋の三倍です

優美なる體裁と實用 經濟の三拍子揃つた……

類似品あり 商標と甲印に御注意

見本一足 一圓六拾錢

東京日本橋本銀町四 松井商店 電話神田八百十五番 振替東京一萬五千番

◇別珍足袋 の今一つ自慢なのは色合です、在來の足袋の様にきまり切つた白や黒の外に、焦茶黒、折風、藤紫、桔梗青、緑、海老など、約十餘種の變つた色がありますから、お年頃やお好みによつて、お望みの色が選擇出來るのでございます先方の御家庭に依つてこの

◇別珍足袋 をお選びになつてお贈りになれば、非常に喜ばれます、値段も一足一圓五十錢位で綿子や瓦斯に比較して格恰でございます。是非こ本年は贈り物には是非この日本一の評判ある東京名物の別珍足袋を御選定なさい、温かい心盡しの程が感謝されます。發賣元は東京日本橋本銀町四の松井商店です

十二月卅一日

(舊)十一月十日 水曜日 ひのえさる 友引 七赤 大祓ひ

▼七赤▲油斷の成り難き日なり▼八白▲朝或は氣に向かぬや知れぬ午後から次第に愉快さなる▼九紫▲此の日或ひは思ひ設けぬ好きここに出會ふやも知れず▼一白▲我が慾を慎まば或は存外の幸ひ來るやも知れぬ日なり▼二黒▲萬事控中に纏むべき日▼三碧▲願ひたり叶つたりの好き日なれご油斷せば却つて凶▼四緑▲一寸斷の付かぬ日なれご躊躇しては意外に策出づべし▼五黄▲表面六づかしき日の如くなれご考へれば味はひある日▼六白▲考へた上で爲すべき日

リウマチ神經痛 で永年困む人は不思議に良く効く良藥有難書で申込ば詳しく知せ升 東京市麹町區飯田町六の一 天壽堂

稀珍 目録 進呈 內要稀珍百種 封要料三錢 大阪市北區本庄 明星舎

萬年炭 價一箱六十錢以上各種木炭以上 ノ火カチ生ズ木炭、石炭、コークス割節約 京城黃金町一ノ二 電話三〇六一番 酒本商店

演藝案內

日本活動寫眞會社代理店 櫻井町 大正館 電話八七三

▲本月三十日より大々的提供 ▲寫實『印度の祭典實況』長尺 ▲ニコ〳〵喜劇『マックス流行を造る』長尺 米國ヴアイタグラフ會社大傑作 大活劇『勇猛』全六千呎 原名 偶然の兵士 心意剛勇の如き金滿家は濟醜なる娘親子を脅迫の上隣國に連れ結婚せんさせしが奮進を知り居れる一青年は短身隣國に入り込み大活躍ノ後親子を救ひたる大活劇 日活會社向島派が特に最善の努力を以て撮影したる都各新聞激賞の事實譚 ▲深川美談『破れ筏』全六巻 東京灣內暴風雨中の悲慘劇 主家の爲に倒る美しき犧牲の花

有樂町一丁目 電話九七番 喜樂館

當る十二月二十六日より本年掉尾の大映畫提供 ▲實寫 石狩川鮭漁 ▲喜劇 無心の策略 ▲滑稽 ビル君の成功 米國ヴアイタグラフ會社特作 チャムバーズ氏作パウエル氏脚色 ハリーモレー氏 コリングリフィス氏 出演 (の)活劇 軍年好戰國 全五巻 說明者 石田 旭花 (い)日活京都派空前の大雄篇 尾上松之助十八番劇の內 (ロ)舊劇 菅原天神記 全六巻 菅原道眞公(市川素美之助)〇梅王丸(嵐橘樂)〇櫻丸(中村仙共)〇武部源藏(中岡市太郎)〇松王丸(尾上松之助)本興行は五日間限り 期待せられよ 新春劈頭映畫

黃金町 黃金館 電話二六二七 天然色活動寫眞株式會社代理店 京城釜山一手特約

本年掉尾の大映畫 活劇『ローの復讐』全三巻 天活會社京都大阪 名優嵐璃德一派總出演 歴史『古村寅太郎』全三巻 米國カレム大會社作 活劇『女優列車』大雄篇 ヘレン嬢の大冒險 新派悲劇『月魄』全五巻 菊地幽芳先生原作 天活東京派新劇團大撮影 事列車の大衝突無比の大活劇 最影の努力泰西物 愈々九年元旦より新國際活映株式會社の大映畫提供

京城明治町 浪花館 電話二六〇 大正九年一月元旦より 大阪大合同 落語大演藝會

落語 笑福亭福三郎 / 落語音曲 桂枝太郎 / 落語歌舞 桂小枝 / 落語音曲 柳家三之助 / 落語 桂枝六 / 落語歌舞 東家竹窓 / 落語音曲 桂小圓丸 / 落語 三遊亭花遊 / 落語人情噺 林家梅橋 / 大切 三遊亭 中州 / 娘義太夫 豐竹... / 人情噺 徐興 (其他)

最新刊

兒童宗教教育の基礎 伊藤堅逸 四、一六

◇日本南畫史 梅澤精一著 八、二五

◇宿命 沖野岩三郎 二、七五

◇婦人と子供の權利 平塚らいてう著 一、八六

◇新エミール 三浦關造譯 三、〇八

◇傑作集 奥野多見男 一圓九十八錢

◇白樺の林 白樺同人著 一、二〇

◇金の鈴 野邊地天馬 一、六五

◇婦人と經濟 上村熊雄 一、七六

◇社會改造思想史 岡悌治 一、九八

京城本町一 大阪屋號 電話六八〇番 振替京城二五七三番

商業登記公告

本店設立 商號ミツ輪製菓合資會社、本店京城府西小門町九拾貳番地、目的ミツ輪キャラメル、ミツ輪ミルクチヨコレート及洋菓子ノ製造販賣並ニ之レニ付帶スル營業、設立年月日大正八年拾貳月拾日、社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任 京城府… 島倉太郎… 右大正八年拾貳月二拾日登記

[illegible]

右大正八年拾貳月拾日登記

京城地方法院

内務省甲種

自動車

運轉手は

吾校ハ開祖東洋第一ノ自動車學校ニシテ其獨特ノ設備ト教授法ハドンナ素人モ樂ニ覺ヘラレテ成功セヌ者ハ一人モナイ

成功確實ノ校外生科及ビ專科二ケ月卒業ニ技術講習實業家派遣養成ス 技師科五ケ月ノ三年卒業 毎月入學隨時開始 規則書要郵送

東京自動車學校 東京京橋 大阪市北區 福岡市中島町 大阪自動車學校 福岡分校

◆頗る便利重寶に出來たる

座右顧問

新撰 百科 日用文庫

四六判上製 大形七百頁 函入

▲其日からスグに役立つ

▲男女萬人必備の大寶典

▲何人にも必要なる 重要科目のみを集め之を春の巻、夏の巻、秋の巻、冬の巻に類別し今迄に類例なき最新式の編輯法により頗る便利重寶に編纂せる萬人必備の寶典にして內容を左の廿門に分ち更に之を五百餘項目に細別して懇切叮嚀に詳述せり、されば本書一冊を備ふれば何事も相談する必要なく何でもスグ其の場で分るが故に如何なる場合にも決して恥をかいたり笑はれたり又は損失を招く憂ひなく實に便利重寶なる萬人必備の一大座右寶典也

◆日常必要な世間の挨拶 ◆日常必要な儀式と作法 ◆日常必要な手紙一般 ◆日常必要な法律の一般 ◆必ず心得べき葬式の儀と式 ◆必ず心得べき婚禮式の儀と式 ◆必ず心得べき出産の心得 ◆必ず心得べき兵役の心得 ◆必ず心得べき應急手當法 ◆必ず心得べき願書と屆書

必ず心得べき契約の書方 必ず心得べき納税の心得 必ず心得べき茶道活花の心得 必ず心得べき和洋食の喰方 必ず心得べき和洋服の著方 必ず心得べき祝辭と演說 必ず心得べき秘法全集 必ず心得べき古今家庭年中行事 必ず心得べき三世相秘鑑 最近流行必要な新語の解釋

定價二圓五十錢 今回千部に限り 特價一圓九十錢 代金引換送料廿五錢 前金注文送料十錢 (普通活字千頁に相當の大冊) 希望者は直ちに新聞名記入注文あれ 振替東京一七四三三番 東京青山南町六ノ四八 有教社書房

NOTICE! RED CAN NOTICE!

RED CAN is the best medicine for BOWEL and STOMACH TROUBLES.

The RED CAN is HOSHI ICHOYAKU.

Why HOSHI ICHOYAKU is the best?

Because

1. All materials used for HOSHI ICHOYAKU have gone thorough and rigid tests of our own Laboratory. Only the very best qualities can pass through the tests as O. K.
2. Our Factory is the largest of the kind in the Orient, with all newest and most improved apparatus and machines.

Many well known Specialists—Sc.D., M.D., Igakushi—are personally engaged in the manufacture of the medicine. That is why our RED CAN is so efficacious.

PRICES:—20 sen. 50 sen, ¥1.00.

赤い罐

胃腸病良藥

ホシ胃腸藥

定價 廿錢 五十錢 一圓

胃腸病には赤い罐の藥が一番よく効くと云ふ大評判 赤い罐の藥はホシ胃腸藥

△ホシ胃腸藥のよく効く譯▽

ホシ胃腸藥の原料は一々本社工場の試驗部に於て嚴密なる試驗を經け有効成分を完全に具備するに非れば使用せざるが故に其の品質の優良なるは絶對に信用を措くを得べし本社工場は規模の宏大にして設備の完全なる東洋第一の稱あり技術者こしては博士ドクトル學士等の最高の專門學者ありて自ら親しく製藥に從事するを以て其効力の的確なる當然の理なり

東京京橋南傳馬町 星製藥株式會社 電話京橋四一七番 振替東京二〇五三番

當秋成熟の新椿の實を冷壓法にて搾取せる

○ミツワ椿油

定價 大瓶金貳圓 中瓶金壹圓廿錢 小瓶金六拾五錢 內地以外は關税運賃を加ふ

椿油が毛髪に最好適のものなるこは、古來からの定說ですが、然し普通椿油こ稱されてゐるものには、純粹の品は尠く、混合物があり、且つ化學的操作を加へて、純粹の椿油のやうにしてあるものが多い。ミツワ椿油は特殊の製造法に依つて精製された、眞に純粹なもので、左の優秀な特徴が具備されてゐる。

○ミツワ椿油の特徴

浸透性 毛髪の組織に浸透して其發育を助け、漆黒ならしめ赤毛白毛になり易き憂を除き、裂毛折毛等を生ずる質を去る。

不乾性 ミツワ椿油は特に此不乾性に優り、毛髪は常に色艶は艶々しく濡羽色に、漆黒ならしめる。

冷壓法 ミツワ椿油の製造法は他こ異りて、絶對的に熱を加へず、強力なる壓搾機で搾取したものである。

純粹 本品は此の混合物なく、搾取せるまゝの絶對的純粹なることは他に比なく食用に供して他の揚油に優る。

發賣元 ミツワ石鹸本舗 ○丸見屋商店

1/12

京城日報 第五版

(年末無休刊)

旅行中に付年末年始の禮を缺く 池田淸孝

新刊 國民思想と…
東京橋區…大鐙閣 大阪…
定價貳圓五拾錢 送料十二錢 滿鮮廿四錢 三百餘頁 天裝

移轉廣告

從來太平通一丁目に於て營業致居候處今般左記へ移轉一層勉勵可仕候間倍舊御愛顧御用命の程願上候 敬具

京城黄金町三丁目六七
新古鋼鐵材料 岩吉改め 坪内順三郎商店 電話六九六番

冨山房發行權威的名著九種

九十五版 詳解漢和大字典
文學博士服部宇之吉 學習院教授小柳司氣太 兩先生共著

改訂增補 日本家庭百科事彙
紙數千七百六十頁◎挿畫插入木版千三百各種美術圖版及地圖卅七葉
特價金拾六圓(定價廿圓)郵税内地不要以外半減 詳細内容見本
現在完備せる唯一の實用百科辭典にして、學庭要具の主品、嫁入調度の随一と尊重せられ全國十七萬の良家庭に愛用せられて、絶對的信用の確立せるは本書なり

二十八版 ローマ字でひく 國語辭典
文學博士上田萬年先生著
袖珍千五十頁◎金壹圓八拾錢 郵税十錢

二十五版 正譯英和新辭典
文學博士上田萬年 上田敏 兩先生著
袖珍一三六〇頁◎正價…錢 郵税十錢

第十八版 注解和獨辭典
三高教授文學士小田切良太郎先生 四高教師ウオールフアールト先生合著
袖珍一三六〇頁 定價金參圓郵税十八錢

六版 英和熟語大辭林
四高教授文學士篠原一慶先生 四高教授文學士岡本清逸先生合著
四六判千三百頁定價參圓郵税十八錢

芳賀博士・杉谷代水 兩先生著

十二版 縮刷 作文講話及文範
天金 顧美本 紙數千三百頁 定價貳圓卅錢 郵税内地十二錢以外十四錢

廿九版 縮刷 書翰文講話及文範
天金 顧美本 紙數千六十頁 定價貳圓廿錢 郵税各地十錢

著者兩先生が獨特の妙技を揮はれ、文章と手紙を草すべき委曲細大の方法を、極めて懇切に平易に、常識的新の仕組により、手を取つて教ふるが如く講説し、古今内外の代表的模範文を、最も穩當に取捨詳釋せるもの、原版と縮刷と合せて五十餘版を重ね、天下獨步の自習書として信用通絶せるは正に此の兩書なり

◆警告!! 近來題して本書と殆ど同名の類書あり、御注文の際には冨山房發行芳賀博士、杉谷代水共著書翰文講話及文範と御明記下され度候

六版 書翰文講話及文範別編 芳賀博士校閲 冨山房編輯局編纂
現代名家書簡集
(名家眞蹟七十餘通入)
天金六百四十頁 定價壹圓四拾錢 郵税各地八錢

各書內容見本 進呈 往復葉書申込

東京神田 冨山房 振替五〇一

◁觀よ!多大なる社會的使命を新に下の侍たる雙方の…て論壇に獅子吼せんとする▷

朝鮮公論 新年號

偉觀の新年號

歲旦の辭

在勤 三井物産會社京城支店

◆本誌の本領 平和第二年を祭りこ雖も世界の大勢より推し來れば對外的に將た對内的にも政治的に經濟的に…

第四十一議會に於ける重要の諸問題

▽普通選擧一家言……衆議院議員 松田源治
▽來年度豫算計劃……第百銀行頭取 池田謙三
▽陪審制度の概要……法學博士 大場茂馬
▽物價調節策如何……法學博士 山脇玄
▽勞動立法問題……衆議院議員 三土忠造

◆抱膝獨語……獨語子 ◆囈語漫言……漫言子

◆新なる世界大戰始まる……衆議院議員 長島隆二
◆歐化主義を排斥す……早大學長法學博士 平沼淑郎
◆戰後の日本と民族主義……貴族院議員 澤柳政太郎
◆大戰後の婦人問題……ドクトル 長瀨鳳輔
◆各地銀行設立の可否……殖銀頭取 三島太郎
◆國民的自覺を要す……滿鐵理事 久保要藏
◆財界の恐慌來らむ……殖銀理事 櫻井小一
◆改造問題と社會の秩序……陸軍中將 兒島惣次郎
◆軍隊的精神の普及……朝鮮軍參謀長 大野豐四
◆朝鮮の定期航路の消長……朝鮮郵船取締役 川田治一
◆本能問題と勞働運動……京城三菱第三部長 千葉了
◆經濟界の狀勢と金融業……東拓金融課長 鈴木一來
◆内地蠶絲業と朝鮮……殖銀營業課長 鹽川孝吾

大正九年を迎へて國民の覺悟を論ず……(社說)

△大正九年度を迎へて(在鮮新聞記者其他の新春慨想一抱負)
▽改造の岐路に立ちて……ソウルプレス社主筆 布施知足
▽新年の說法……京城商議書記長 大村友之丞
▽半島の氣分に浸りて……大阪朝日特派員 葦上修
▽内地人の對鮮人態度……開城新聞社長 岡本豐喜
▽笞刑廢止問題と是非……太平町人

◆僧堂の正月……三笑生 ◆學士さん物語……微笑生

△財界の傑物、怪物、鈍物……石蓼生
△呂運亨事件物語……寒山寺和尚
△朝鮮銀行の世界的躍進……迫川生

△大正八年史……記者 鬼談怪語……五城樓
八年八年野球戰蹟……老澄手 朝鮮の迷信……今村鞆
お正月の衛生……瀬戶醫學士 長唄正聲會評……公論子
演藝風聞錄……兎耳子 藝妓の噂……花柳子

△代表藝妓諸君の御紹介……變影子
△嘆きの門に降る涙(創作)……兒玉勝之助
△人形の衣裳(創作)……畑黄村

朝鮮大官宮中席次と年齡 一布衣客

◆本誌の特色 本號は光輝ある世界平和第二年を記念とする活幹杉ては擧國刷健なる文化的帝國主義し以て本誌の主張とし…士は中央及朝鮮諸名…大陸關係の人物評論…

△本號に限り特價六拾錢▽ 購讀申込所 京城 朝鮮公論社

來一月は一日より四日まで四日間休業仕候

京城本町 三越呉服店

講談倶樂部 新年號は

面白い讀物が是程あつて僅か八拾錢

日本全國何の本屋にもあります

▲梧野の花…平井晚村
▲川柳談義…闕根默庵
▲駒込坂下…伊藤銀月
▲美人畫家…平安堂
▲轉失氣…春の家
▲夢助小夜…長谷川時雨
▲笑ひ千金…春靑老人
▲淺草夜行…鴻巢歡吉
▲鬪性使ひ…黑川湖山
▲新ちゃん…篠原春雨
▲變人評判…小生夢坊
▲運轉手の死…内根峽雄
▲人間と猿…高瀬文淵
▲犯さぬ罪…武田穀堂
▲浮世珍聞…平井秀風
▲九星運氣…山本正生
▲百馬鹿…吉岡島平
▲反魂丹…春雅亭
▲力芝…竹の島人
▲鑛懺悔…池田莊緣
▲閑助…細川風谷
▲漫畫…宍戶左行
▲讀方…すいざん
▲オペラ…吉岡島平
▲夢見草…筑波四郎
▲厄明け…高丸鶯風
▲逸話珍聞…記者
▲戀の使者…前田曙山
▲喜久代…流浪の子
▲岩見重太郎…坂東太郎
▲那須野話…鴻巢歡吉
▲歌舞伎…二木文彬
▲小雪…大秋神樂
▲慈業一日…山田みのる
▲安中草三…田中蒸竹
▲川柳雜吟…劍花坊
▲神稻水滸傳…紀潮雀
▲狂人Ｓ…中村孤月
▲死相物語…大河内翠山
▲月見草…野田やな

大懸賞 集券

東京 駒込 講談社 發行

天下獨步の大雜誌!!

旅行中に付年末年始の禮を缺く
平壤水玉里 田代英作

喪中に付年末年始欠禮仕候
京城府櫻井町二丁目九五 池田與三郎

病中に付年始の禮を缺く
京城大和町二丁目 栗崎又男

改造

精神改造 文藝附録

■生存權の倫理的考察(五十枚の長文 立論烈)……文學博士 藤井健治郎
■人生の幸福と財產權(新研究と新學說に立脚した る改造の根本究明論鋒峻烈)……慶大教授 高畠誠一郎
■人間たらしめよ(八十枚の長論文人間をして眞人たらしめよと痛烈な叫を擧げ)……武者小路實篤
■物的改造か精神的改造か(社會改造の原理を說き筆鋒淋漓)……慶大教授 阿部秀助
■人間建築論(是れ時也、歐也、人性を時化し、而して社會改造の精神的勵を說く論旨明快文章暢達一の創作也)……賀川豐彥
■教育問題に對する勞働者の自覺(教育行政の殘斗たる氏が時勢に慨し草す)……文學博士 小西重直
■社會小說 死線を越えて(六百枚の長篇處女創作 豊艶の時想にて血を以て書かれたる自叙也思想と戀の爭闘史を寫し)……賀川豐彥
■現代の新人論……堺利彥 大庭柯公 室伏高信 加田忠信 沖野岩三郎
■創作 泉のほとり……正宗白鳥
■我が假寓……近松秋江
■道路……幸田露伴(豫快の極壯烈の豁獨り氏の筆裡に在り)
■長篇 よぼよぼ順禮……北原白秋(二百枚の力作十數日不眠不休擬飯を嚙つて成る)
■戲曲 藤戶(本年中に於て最も會心の作 筆致清新麗達)……野上彌生子
■小說 門を開ける話……江口渙
■長篇 戀愛合戰(百卅枚の長文)……宇野浩二
■小說 鐘ケ淵(現代思潮を諷し戀の解放を要求す)……上司小劍
■小說 途上(奇!怪?人生の中面を穿ち淒然たる者有)……谷崎潤一郎

定價壹圓 郵税三錢

東京 京橋 櫻田 本所 改造社 振替東京二〇四八

岡本米藏君著 百版記念 縮刷 牛

上製金貳圓 特製金四圓 郵税六錢

牛歩千里、馬の嘶ふに任せつゝ「牛」は遂に百版を突破せり!而して更に體裁の美と座右の便を加へて江湖に現れたり!

東京神田今川小路 培風館 振替東京二三六一七

京城本町一丁目 大阪屋號 振替二七五三番

社會主義思潮を指導する二雄篇

新刊
高畠素之著
マルクス學研究
總布美裝 定價一圓五十錢 送料六錢

哲學に於ては懷疑的唯物論者たり、經濟學に於てはマルクス資本論の信奉者たり、歷史觀に於ては社會一元論者たり、政策に於ては熱烈なる革命的國家社會主義者たる著者が、實行政治の社會主義思想史上に於ける其獨特無二の立場よりマルクス學を批評、紹介、攻擊、辯護したる堅實鐵の如き論著。

增補六版
高畠素之著
社會主義と進化論
總布美裝 定價一圓貳拾錢 送料四錢

今春以來社會主義出版界殷賑の端を開ける名著。社會主義の立場より觀察、批判、解剖せる高級常識の基礎たる哲學、自然科學、社會學及經濟學的智識の合財袋。新たに三十餘頁を追補す。

發行所 東京赤坂田町三ノ四 振替東京四〇七七 公文書院

鮮滿一手特約 京城本町 大阪屋號 振替二七五三 (同店)大連・旅順・釜山・奉天・鐵嶺

京城日報
大正八年を送る（下）

大正八年に於ける朝鮮財界は本土のそれと同じく、之を約言せば未曾有の膨脹繁忙を以て終始せりと謂ふを得べし。即ち新事業の計畫は約百廿社に上り、其の公稱資本金一億二千萬圓に達し、在鮮會社の統計は、飛躍的增進を示せり。貿易は出入合計五億圓を超ゑて、殆ど前年に倍し、金融の活動は朝鮮政治經濟の中心地たる京城の預金貸出のみを見るも、預金實に七千萬圓に上り、貸出は前年の二倍強にて一億圓を拔き、何れの方面にも新記錄を作れり。而も其の新記錄が前年の倍增、若くば其れ以上の數字を現したるは、要するに朝鮮富力增進の反映として、吾人の欣快に堪へざる所なり。

さりながら數字の增進のみを以て財界の膨脹を唯徒らに喜ぶは、果して當を得たるものなるや否や、數字の新記錄呈示は祝すべしと雖も、更に其實質の伴ひせるや否やをも檢せざるべからず。事業界に就ていへば、本年新事業計畫の主力は民設鐵道の勃興に在り。鐵道事業の勃起は、朝鮮將來の產業交通上に寄與すべきもの少からず、吾人は此上にも各地方夫々に、尚幾々の發起經營を希望するものなるが、此の鐵道計畫を新事業中より除き去るときは、果して幾何の目ぼしき新會社を殘すべきか、三四の注目すべき目論見を除けば、何れも規模狹小、資本少額のもの多く云ふに足らず。若し一朝財界反動期に際し、尚能く事業界の波瀾を乘り切り得べき自信あるもの幾千かある。吾人は此點に於て朝鮮事業界は今尚搖籃時代に在り、其發育大成は之れを將來に期待するの外なしと信じ財界諸士の奮勵を切望す。貿易界に於ても又金融界に於ても、其數字の激進は、歸する所主因を物價の大暴騰と商的思惑の熾烈に在りと斷ぜざるを得ず。素より大體に於て諸商品の荷動きは累年激增的趨勢を示し居り、本年は殊に其著しき事を觀過すべからずと雖も、若し物價の騰貴なくんば其增加は必ずしも異數なりとの觀察を下し難からん。要するに實質的增進の程度は或は數を大にする程の價値なきやも知るべからず。

本年の朝鮮財界を追想するに、見逃すべからざるは、地方農村の富力增加に在り。貿易年の數字的活躍は、其因をここに發し居れり。農村の好況は連年の生產品騰貴に在り、今後も亦生產品の高値維持せらるゝ限り、大體に於て所謂商品界の好景氣は繼續するものと斷じて差支なからん。唯產業界の大正八年は不幸にして多收ならず、乃ち西鮮地方に於ける農作物の旱害、時局に基因する鑛產の激減是なり。恐らく明年の財界は此影響のため、相當の災禍は免れざるべき乎。

金融の大勢は、時に一張一弛ありしも、上半は比較的緩漫、下半は終始緊縮を以て經過するもの、如し。朝鮮銀行券の歲晚發行高一億六千餘萬圓、其鮮內流通高一億圓を超ゐ居るべし。之を一昨年の三四千萬圓臺に比すれば、其差の大なる、人をして一驚せしむ。歲末の金融界は銀行業者が夙に警戒の手を弛めざりしため案外平穩に經過したる如し。

實質論を除き更に最近朝鮮財界の膨脹は急進的狀態に在り、其の對應策として、既設諸銀行會社の增資計畫が、相踵いで胚胎し、新事業界にも有力なる特種的會社の計畫現れんとしつゝあるは、頗る可なり。唯大正九年の財界は、之を世界的に、又國內的に觀察して、果して如何。漫りに悲觀するの必要なきも、又樂觀を許さざることは、諸種の財的事情により之を斷じて憚らず。吾人は朝鮮財界の堅實なる發展を庶幾する上に於て特に關係各方面の自戒と奮勵とを望むや切なり。

對支借款と米國

日本が英佛と共に支那政府の提議に應じ二千四百萬元の借款を諾し且つ米國の加入方を勸誘し居れりとの事に關し在北京の一有力なる米國人は語りて曰く米國の加入問題は唯二言を以て之を決し得べし此借款を以て舊銀行團の復活の醞物とせば既に脫退せる米國が今亦何を以てか之に加入を肯んぜん是れ其の一言なり此借款を以て新銀團樹立の前提ならしめんには米國は喜んで其加入勸誘を受くべし然れども日本は此際新銀團と提携するの誠意を表示し其除外條件を取消すを必要とす是れ其の二言なり（北京電報）

衣類騰貴防止

衣類及び附屬品製造業者より消費者に供給する業務に關係ある人々は來る一月會議を開き衣類價格の騰貴を防ぐ手段を討議すべく同時に正當の價格を以て標準的品質の品を製造せんとするの計畫をなすべし（華盛頓電報）

南北和平希望

新國務總理は十七日附廣東軍政府各總裁宛の密書二十三日廣東二新聞紙に表れたる處其要領は內外の情勢の急迫を說き統一の必要を述べ外蒙古自治取消が此大勢に順應したるものなるを述べ西南各省は一層其統一の必要なるを力說し反傍に有の目的を達せんが爲め既往協議の事項に就ては更に互讓の精神を以て簡單に解決せんことを希望すと結べり右に對し廿日附を以て軍政府各總裁より新總理に宛てし電報は中外の時局の趨勢に基き和議即開を希望せらるるに至りたるは國民の幸福なりとし而も其の內容は尚不明の箇所多しと指摘し北方側代表を更迭せず國民の困難を顧みざるを責め左の如く結論せり（北京電報）國民の窮狀を察せば總代表更迭の如きは一擧手一投足の勞のみ南方も勿論互讓の精神を以て僵局を解決せん事を希望するも北方が借款により軍器を整へ北軍が南軍を壓迫し居る事實は國務總理の言と反する處なきや直ちに互讓の和議再開を圖らんとせば此際速かに具體的に便法を明示せられたし云々

清河口商港開埠業の內容

在天津米商ハースの發議に係る直隸省樂亭縣清河口に一不凍港開埠案は直隸省長曹銳の贊成を得直隸省議會を通過し議長邊守靖其代表となり上京請願中なるが其內容を聞くにハース及アンダーソンメーヤ共謀の上曹省長を說きアンダーソンメーヤを顧問として開埠に要する經費二千五百萬元を先づ少車券として發行し全部之を引受くる約束にて曹省長は省議會閉會前議長邊守靖をして秘密案として省議會に提出せしめ唯暗の間に通過したるものなるが內容漸く暴露し曹邊等の米商との醜關係亦逐次馬脚を現はし來るより省議會は大いに憤慨し既に反對運動を政府に呈出し或は反米的一風潮天津に起るやも知れずと傳へらる（北京電報）

南北和平機運 兩政府の諒解

北京政府と南方軍政府間に南北和議再開問題に關し秘密に電報の往復せられ居るは各所に達せる情報を綜合するも明かなるが、當局者間にては協議の上他に藉口し特に之を內密に發表したるものにはあらざるかと思はるる節あり而して南北議問題は雙方間に可なりの諒解あるが如く最近南方の大立物たる唐紹儀、岑春煊兩氏の會見に引續き一時熾烈なる軍政府改造問題の中止を見るに至れる等更に危かりし岑氏の地位確立は其消息を語るものたるべし又同時に章宗祥、曹彥兩氏の上海より廣東へ潛行したるが如き北方代表者李純將と相前後して上海より南方に向ひ且つは南方代表者の一時上海を引揚ひたるが頭に再び上海に立戾れる等之れを綜合考察するに南北和議の前途は益多忙たるに至れるこ共に一道の光明を投げたるものこ觀ぜらる而して斯の如き結果を來せるは一に借款成立の機運に向ひたると他は政權問題に基因せるものなるべし即ち南北共年末に際し軍隊其の他行政費の關係上財政大いに窮乏を告げ此情勢を持續せんか遂に南北双方共自滅するの外なきのみならず列國の意向は直接其の死命を制するものなれば特に其表面上の勸告の發せられたるに先だち自省せるものなるべし倘梁士詒氏の徐總統の旨を受けて南方に到りたるに想到せば北方武斷派の凋落を示すものこして此機運に一層和議再開の可能性を與へたるものたるべしこ觀測せらる

歲晚無事 財界平穩

歲晚財界は銀行の貸出警戒により各方面の自戒を促したる結果屢報の如く存外無事に經過せんこしつゝあり、市中有力方面に於て手持品の夥しき關係上數日前金融難を感ぜし模樣あり夫等の方面に相當纏まりたる資金の必要を生ぜしも大體に於ては略所要額を得られたるもの如く二十九日の金融界は此諺不圓の關係もあれご存外落著き氣味を示したり又地方に於ても大口資金の需要鮮銀支店を通じ若干口本店に申込まれ居しがそれも必需口にして止むを得ずこ認めしものは貸行にて貸出を承認せし結果大口資金融の波動は何れにも及ばず一般銀行の緊縮も度こ金利高に叱吒ダラぐ年末大節季の經過はまづさしたる障碍なき模樣なり

鮮銀券漸增

二十六日の現計に於いて鮮銀券は一億六千萬圓臺を突破したが二十七日は更に二百萬圓を增加し二十八日の日曜明たる二十九日は三百萬圓を豫想され結局大晦日は一億六千五百萬圓內外ならんこの見當を當局は持し居り

影響なからん 大手筋米界引退

天日常次郎氏談

三井物產會社が米穀取扱の全廢及び雜穀商策を消極的になすことは既報せるが右に付朝鮮精米社長天日常次郎氏は語る

米價問題は究極する所大勢によりて動くものである從つて今般三井物產會社が朝鮮にて米穀の取扱を全廢する方針をとりたりとて其事實が如何程の影響を**朝鮮米界**に及ぼすべしとも思はれない殆ど何等の影響はなからう要するに米價は大勢により動く以上之に反抗するが如き商策をとりたりこて一時的の成功は兎に角結局成功は望まるべきでない此の意味に於て米界に有力者視された三井物產が米穀の取扱ひを全廢しようこも又從前の通り繼續しようこも格別問題でない殊に現時の朝鮮米の內地移出にしても外米輸入等の問題こは其性質又は內地この關係近接なる點に於て同一でないので三井物產の手を煩はさずこも既に相當の米商により內地移出は營まれて居る西伯利出征軍の**供給米**の如きにしても亦同樣である現に昨年の如きは西伯利軍供給米は三井物產が進んで供給したる譯でなく吾々京城米穀組合員こして供給したのである更に此時食糧問題の聲高き折柄三井物產こして米界より手を退くは至極穩當なる方法であらう又辻京城支店長には未だ面語の機會を得ないが聞く所によるこ同氏は從來の經驗上綿布方面に趣味を有して居る樣であり前支店長高野氏は米穀に趣味を有つて居た等の所謂趣味性の相違も本問題に多少の關係が來て居るであらうこ思はれる

本年石油業績 產額減退と價格昂騰

本邦石油界今年度の業績を見るに大體に於て好況を以て推移せるものこ云ふを可即ち歐洲戰亂の影響を受けて一時鐵管並に鑿井機械の輸入杜絕し爲めに斯業の發展上著しく支障を來りたるが休戰こ共に其等輸入も緩和せらるるに至り斯業者は再び新方面の開拓に努むる事容易こなれり爾來當業者は鑛油田の探掘を進むると共に積極的には未開鑛區の試掘開發に努むる所ありしも戰時斯業の受けし影響大なりしだけ是が回復も困難を感じ產油額の如き幾分の減退を來せりしは遺憾とする所なれども漸次諸般の準備も完備せらるゝこ相俟て產額漸增の兆候は遠からず具現せらるべしと觀ぜられざるに非ず是が爲には進んで鑛區の開發に努むべきは勿論官民協力益々斯業發展の方策を講ずるの緊切なるは呶々を要せず本年中石油業の狀況は大體良好に經過し油價も概して高調を支持せり唯八月に入りてスタンダード會社の燈油值下に依り一時市況混沌の狀態を呈せしも需要季節こ共に市況恢復し更に一段の好況を示現するに至れり就中揮發油は供給常に逼迫の有樣を呈し他油不況の時にも依然硬調安定の步調を保ち要するに各油共概して市價も好況裡に推移せるもの云ふべく其他の方面に於ても本年中に於て充實せられたる斯業の內容は恐らく明年以來に於て刮目すべきものであるべしこ豫想せらる（東京）

鐵工界近況

我鐵工業は平和克復こ共に大恐慌來を一般に豫想せられたるが其後歐米に於ける勞働問題の勃發其他各般の事情に依り戰前の狀態に復歸するに至らず從つて未だ海外品との競爭開始せられざる爲め遂に其事なく依然相當の繁忙を呈しつゝあり而して製品代價に於ては戰時中に比し諸材料中幾分低落したるものあるも一方勞銀の昂騰甚だしきが故に結局大差なきを以て各工場共其利益に於ても亦著しき增減なきが如し特に最近地方の景氣旺盛の爲め自轉車を使用する者漸次增加する傾向を生じたれば此等の修繕工場到る處に設置せらるゝに至り從つて之れに要する小型旋盤の需用頗に激增し且つ紡績業又は肥料會社等の後見に基因する增設計畫の現はるゝに伴ひ又此方面に向つても相當の需用あり加ふるに各種事業に對する需要は前途益々昂騰の趨勢に在るを以て成る可く人力を待たず機械力を應用せんこする新傾向を生じ來りたるを以て斯界は米國より安價なる機械の輸入に依り脅かされざる限り先づ當分此好況を繼續するならこ當業者は觀測し居れり（東京）

大阪財界便り 歲末金融緊縮

歲末に際し一般金融の緊縮するは例年の事さて敢て怪しむに足らざるも本年末は殊の外緊縮の程度甚だしくして銀行業者の警戒頗る嚴重に當惑し居れる其原因は政府の物價調節策に依るものこすれば各銀行の貸出制限の結果却つて手許緩和すべき筈なるに事實は之に反し金融は頗る逼迫し翌日拂ひのコールさへ充分ならざるは利率も昂騰に昂騰を累ねて翌日拂ひ二錢八厘こ云ふ未だ見るべからざるの高率を唱ふるに至り然も資金の涸渴はブローカー業者の何れも焦慮し居れるが其の眞因は諸物價騰貴の爲め取引價格頗る尨大し然も其資金は薄々し居れるこ一般個人の懷合良好なる爲め自然購買力增加し其準備こして各個に死藏せる金額も少からざれば之等の事情よりして銀行の手許を薄弱ならしめし所以ならんこ

鮮米移入增加

歲末の金融關係は一層斷放す傾向を生じ居れるも買手は來春の氣配如何を顧慮し市內賣留口は取引極めて少く現品の荷捌け甚だ惡しく買賣成立せざるものは委託扱ひこなり兎に角鮮內市內米は逐次出し居れるは勢ひ市內に充滿し居れば止むを得ず不便不利なる仁川其他港方面へ荷揚げなし居りて尚續々輸入船する筈なれば年內に於て多額の鮮米在荷を見るべきも所謂地相場の強硬は益々不引合こなれる狀況なり

伊豫子ル暴落

地方筋の實需起らずして品捌け不良なるに拘らず比較的有力筋に依て商品の大部分を抱擁して安賣せざるの故を以て比較的堅實なる相場を維持せしも綿絲相場の暴落金融の緊縮等大勢日に非なるは如何に有力筋こは云へ何時迄も不利の商品を抱いて晏如たる能はざりしは最近斯々投賣りするものありて一般の不良こなる相場も激落の姿にて目下金角現品七十八錢處を示し最高値より約六七錢方の低落なりしが明年七八九月物は取引旺盛にて之又高値より十二三錢方の暴落なり

金融市場底硬

株式受け渡し期日を控ゐたる本日の金融市場は益々緊張を示し來り翌日もの二錢六厘年越二錢八九厘の間にあるも長期物の手合なく爲替銀行側の資金吸收に依り例年の氣配ボケを現出するこさなるべく益々手硬き模樣なり

現物市場法案

證券交換所の成立により漸く餘論の沸騰を見るに至り其認可問題に付頗る行惱みの姿なりが其後調査の進捗こ共に幾分從來の方針一變せられ現物市場の必要を認め來れるは近く認可せらるべしこ豫測せらるゝものあるが仄聞する處に依れば今期議會に現物市場法案なるもの研究會より提出せらるべしこ言へば何れにしても近く交換所問題は解決せらるべしこ

貯炭額減少

當地安治川に於ける本月廿日現在の貯炭額は三億九千四百七十三萬一千斤にして之れを前旬十日現在に比すれば二千一百萬斤の減少なるが其原因は石炭賣れ行き好況の結果こ云ふに非ずして近時輸送の關係上入津船減退のためなれば隨つて市內炭價市況は何等の變化なしこ（大阪支局）

東洋葉煙草決算

東洋葉煙草會社にては二十五日東京に第一次株主總會を開催せしが配當は一割二分なりき

大黑山鯛漁業

全南大黑山島近海の鯛漁期は例年八月中旬より十二月終り迄なるが前一兩年は餌料たる海月の浮遊皆無なりし爲め殆ご漁獲を見ざりしが本年は海月の浮遊するもの多數にして八月下旬より漁獲み初め十一月に入りては近年に無き豐漁にして一箇月間は一隻五六百貫の水揚を爲したるもの少からず漁船は八月より漸次增加し十一月に入りては同島附近の島を根據こして出漁するもの全部約六十隻を算し多く木浦其他鮮內に居住する內地人漁夫にして總て延繩を使用し潮流比較的緩漫なる小潮時のみ出漁す然して之等漁獲物の買收及び運搬の爲め十一月中同島へ出入したる船舶は七隻にして仕向地は下の關伴山木浦を主こし魚價は十貫に就き十四圓十錢乃至十七圓なりしこ（木浦）

鳥瞰錄

本紙も愈々今日で終刊だ、從つて鳥瞰子も人並に歲晚の休みが出來るヤレくノ▲こ云ふた處で決してサボル譯ではない掘部安兵衛ぢやないが一年三百六十日一日一行書いたこて一年三百六十行▲其れが又餘り褒められ相にもない駄許り書くので可愛がられないのは當然だこ云つて夫子亦涙無に非ずだ▲白雪の此の歲暮は何や彼この收入で本町筋は大分景氣が善い樣だが茲に同情に絕ぬ物語りがある▲十一歲を頭に五人の子供貧しい中でも父の收入こ母の內職で其の日くを暮して居る▲子供達の喜び待つ正月は兩親に取つては涙の種ならう事なら子供丈けには人並の着物も着せてやりたい▲切めて足袋こ下駄こ襦衣丈けなりこも新しいものをこ想つて母親はならぬ內から蓄へた三十圓餘りを懷中して年の市に彷徨ひ出た▲彼れか之かこ見歩いた末は親心子供のものを五通り位買ふこ最う二圓なにがしの不足▲あゝ彼等の子供は三年五年越しのお仕著せに滿足して▲唯新しい足袋に下駄こ襦衣こで晴著美しい職人衆の子供達の中に交じつて嬉々こして樂むのか▲母親は此嬉しい氣に正月を迎へんこする子供の姿を眺めて無言の儘暗涙に咽ぶより他はない▲貧者の叫びは歲末に至つて悲慘の舞臺を吾れ等の前に展開する▲呪ふ者もあらう怒る者もあらう壁一重の彼方此方には悲喜劇が演ぜられつゝある▲彼等の爲には年末程呪はしいものはなからう而して斯くして迎へた新年は依然こして彼等には不安を禁じ得ぬのであらう▲餘たる者は新年を呪阻するのであらう吾人は敢て富者に訴へて彼等に同情を求めたいのである▲鳥瞰子は年を改め筆を替ても貧者の爲に大いに氣を吐かんこする考である

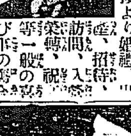
終刊

本紙は本日を以て本年の終刊こす新春は新に新裝を凝らし筆硯を新にして讀者諸君に見ゆべし尤も其の間重要事件突發の際は號外を以て報道すべし

男女共に心得べき 挨拶の仕方

▲挨拶、儀式、對話法其他交際上の心得を詳述す

■社交の秘訣 世間一般の挨拶の仕方や儀式の心得を知らない爲に恥をかいたり蔭で笑はれたりして居る人が澤山ある、本書は時候の挨拶より婚禮、出產、招待、訪問、入營、榮轉、祝賀等一般の慶びの事又は死んだ時病氣の時其他百般の挨拶の仕方答辭の仕方に就ての儀式、對話法、訪問の心得等を委しく述べ尚祝儀香典の包み方其他和洋服の著方和洋食の喰ひ方に至る迄詳細を盡す實に男女萬人必備の良書也

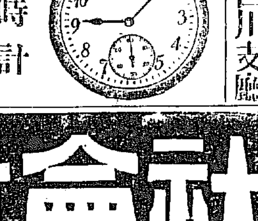


即座演說集 附錄百般あらゆる即席演說を集め何人にも應用自在也▲總紙數菊判五百頁にて定價壹圓廿錢の處此際千八百名に限り特價金九十錢こす希望者は記入注文次第代金引換郵便にて送る（前金注文に限り送料共九十六錢）

振替東京二七七四 東京青山南町六ノ五三 有教社

商業登記公告

一株式會社十八銀行（變更）
一新株式第參回新株式第貳回拂込トシテ大正八年拾貳月拾日拂込ミタル金額各新株ニ付金拾五圓
大正八年拾貳月貳拾七日登記
京城地方法院仁川支廳



金側時計 新荷著
價 金四拾圓以上 金參百五拾圓迄
平井時計店 京城本町

最新刊

◇兒童宗教教育の基礎 伊藤堅逸 四、一八
◇日本南畫史 梅澤精一著 八、二五
◇宿命 神野岩三郎 二、七五
◇婦人と子供の權利 平塚らいてう著 一、八六
◇新エミール 三浦關造譯 三、〇八
◇傑作集 與野多見男 一圓九十八錢
◇白樺の林 白樺同人著 二、二〇
◇金の鈴 野邊地天馬 一、六五
◇婦人と經濟 上村龍雄 一、七六
◇社會改造思想史 岡陽治 一、九八

大阪屋號 京城本町 振替京城二五七三番

寸鐵 新年增大號 社會改造

□霞ヶ關改造の烽火 □今は日本の製紙王 □人權蹂躙と豚箱 □華族へ榮爵奉還を勸む □借地權借家權の確立 □養子制度撤廢すべし □役所の繁文縟禮を排す □全國旅館評判記 □八時間制と日曜存廢

●路面改造 ●電車汽車の改造 ●下宿改造 ●寄席廢止 ●死刑廢止 ●惡税改廢 ●在鄉軍人の改造 ●年賀狀廢止

新年七大附錄
（社會小說）醜男の顏の改造作業 南野甲二
（社會小說）愛の泉 安成二郎
（經濟諷刺）貨幣改造會議 鵜飼男內
（歷史小說）錢屋五兵衛 額田六福
（歷史探偵）國事犯人 無名氏
（冒險奇談）曠野の騎士 福永渙
（探偵小說）怪トンネル 望月紫峰

卷頭 大正九年漫畫觀 岡本一平

定價貳拾五錢

特別記事 新強健法

●腦力增進の食物 ●神經衰弱と眼 ●肺病と肺炎 ●流行性腦炎 ●慢性胃腸病根治 ●流行感冒と肺炎 ●最新强肩自强術

東京市本石町 博文館

朝鮮及滿洲

▼緊張せる本誌の新年號（第百五十一號）▲
■余が朝鮮統治方針……朝鮮總督 齋藤實
◎千七百萬の新同胞朝鮮人に望む 大隈重信侯
◎時代の進運とデモクラシー……鹽澤博士
◎現代と金權主義の弊風…早大學長 平沼淑郎
◎本年の經濟界…鮮銀副總裁 嘉納德三郎
◎總督政治と朝鮮の文明的進步…フランク
▲朝鮮を視察して…山道襄一 ▲排日鮮人及其他の人物…記者
▲宇都宮總督を訪ふ…旭邦生 ▲滿鮮の企業熱と反動…今川
◆如何に朝鮮問題に處せんとするか…釋尾旭邦
●戰後の天下尚ほ定まらず…釋尾旭邦
◆文化及生活程度より觀たる內鮮人比較…釋尾旭邦
◎京城に於ける文祿役日本軍諸將の陣地…文學士 小田省吾
◎上世の日鮮關係…谷井文學士 ◎人蔘の發育の順序…久保博士 ◎朝鮮の水利事業…池田技師 ◎新歸朝の後藤男と語る…支局記者 ◎人間創造說と猿…田中文學士
◎朝鮮の西教傳來と鮎貝房之進 ◎朝鮮の音樂界…足立東宣 ◎河川調查に就て…本間技師 ◎大連名士こ談片…支局記者 ◎各國動物園と猿…永井外事課長
▲梅……▲猿……▲猿と古書……▲新年……▲東京通信 ▲滿蒙駄辯……▲文藝……▲重要記事……▲大正八年中の出來事 ▲鎖國駄語……▲南北鮮及滿洲の事業と人物
◎大連證券交換所問題（支局） ◎滿洲に於ける麻袋の將來（支局）
■巴々の生活……京城 骨々生
◎或る溫泉場 若山牧水 ■巴里と倫敦の花柳界
■小說 絃の縺れ……東京 小林榮子

發行所 京城南山町一丁目十四番地 朝鮮及滿洲社
定價 一冊四十錢 半ヶ年 一ヶ年五圓 電話一二六〇番 振替京城一三一一番

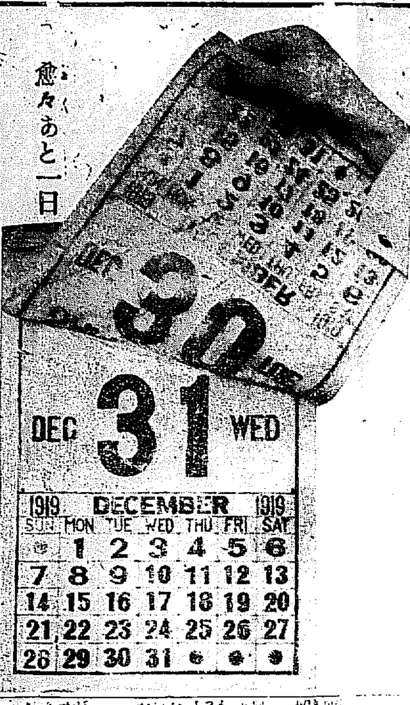
滋養強壯劑 グリコナール

百瓦入 金壹圓拾五錢

本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル營養劑ニシテ五〇％ノ「グリコゲーン」及蛋白脂肪越幾斯分ノ適量ヲ含有ス

適應症。一般虛弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等濃厚滋養料ノ必要ヲ要スルモノニ對シ良ク其目的ヲ達スル事ヲ得。（說明書進呈ス）

本社 東京室町 三共株式會社 出張所 大阪平野町



大…年中に於ける貨物輸送は殊に本年冬季日本一帶の降雪及び初秋の水害による東北山陰地方に於ける經濟障害、晩秋霖雨にして數からざりしも歐洲大戰に發展せられたる我一般商工界の發展は其根柢深く深きものあるが如く一面國内の食料並に必需品調節問題の聲漸次高調されん…輸送車優先…し或は碓氷經由貨車は之を越…西線經由として輸送力の調節並に荷動きの助長等に盡したる結果…計畫に係る輸送施設の…程な觀測するに一月二日は年頭…の影響を受け…減せる如かりしも未だ…く…三月に於て早くも出荷激増の氣勢を現はし四月…百噸に達し未聞の好成績を示せり此餘勢は初夏に入るも衰へず七八月の頃所謂端境時に於ても向意外の成績を收め八九月頃は…に依り…の進歩を見…如き大勢既に前記の如く結局前年の輸送に比し異數の進況を示したり十一月以降十二月末日（十六月以降概算豫想）迄の運輸收入…にして前年に比し噸數に於て六百八十萬噸（一割三歩五厘）收入に於て二千二百五十萬圓（二…百三十二噸を首位とし木材之に次ぎ肥料二百四十八萬九千四百六十五噸が前年に比し二割五歩強の増加は農家財賑の一般を窺…かを知る…からざるべし而除の主要貨物は共に相當増送を見たるが唯時局の影響を受けたる鐵及び鋼鐵は昨冬以來漸次減…

國境横斷旅行（八四）

後上の八日間

海魚の喰へぬ厚昌郡 章魚の足一本金二圓 居住者は各地の移住民

厚昌郡民の言語には朝鮮各地の言語が交つてをる

厚昌邑にて 特派員 伊藤韓堂

四日午前に出發して四里六丁の道を歩くには少し遲いと思つたが今更仕方ないので出發すると果せるかな

途中で日が暮れて

薄暗い山林のあちこちに梟の鳴く聲が聞ゆて來る。岩に碎くる厚昌江の水音を唯一の頼りとして進んで行くと一人の男が向ふから來た。鷹を脊中に擔いだ恰好が鷹匠らしいので聲を掛けると鳥屋は鳥屋に相違ないが、それは雉子獵用の鷹を買出しに來た鳥屋であつて

小鷹八九羽を

背負つて居る。多く此の方面で捕獲した鷹を咸興に持ち歸り狩獵用に仕込んで一羽二三十圓位に賣るのであるさうな。正六時厚昌邑に到着し玉置旅館に投宿した。厚昌邑の初雪は十月十四日で寒中は大抵零下二三十度で寒い處りには五十度にも下ることがあり朝鮮の最北で交通の不便な處である。

一般の貨物は

元山咸興方面から來るものと、平壤鎭南浦方面から安滿道路を經て江界から來るものと水路鴨綠江を遡つて來るものとの三徑路があるが近來は安東新義州の勢力減じて平壤鎭南浦の勢力が伸展したさうである。但し交通路が不完全である爲めに物價は頗る高く郡内では米穀は一粒も穫れぬ所から蕎麥米、江界米を移入して居るが一叺で三十六圓のものが

運賃に約六割

を要するので五十二圓五十錢で販賣して居る。魚類は總て河魚で海魚は絶對に來ないが日本人の習慣として正月一回は是非海の魚を喰はねばならない所から正月前に釜山から小包で取り寄せる其の値段は百匁が一圓二十錢位で章魚の足一本に二圓も費るさうだ何が高いと云つても章魚の足一本二圓は恐れ入らざるを得ぬ。今厚昌の邑内には

内地人卅三戸

男女合計九十六名 朝鮮人百七戸合計四百八十二名支那人勞働者五名總計五百八十三名の居住者が居り年に少しづゝ増加しつゝあるさうである、此の厚昌は元厚州郡昌州郡の二郡であつたのを五十一年前合せて一郡となし其頭字を一字宛取つて厚昌郡としたのであるが其の時厚州郡即ち今の厚州古邑から五十餘戸の者が引き移つて來たのが今日の

厚昌居住民の

北礎を爲したので古來此の方面は支那人の奴隷の如く使役されて來て隨分酷烈な壓迫を加へられたが國威の拡暢と共に今は却つて彼等を壓迫するにならむとしつゝある故に彼等を指して『胡地』と呼び『胡奴』と呼ぶこと上流地方と同じ寄異なる所ないやうだ。厚昌郡は新設當時から政府は人口稀薄なるを憂へ大いに移民を奬勵し移住者に對しては

火田を許して

北の特權となし來つたので全道の貧困者は續々移住し來つたさうである。然るが故に郡内の言葉は各地の言葉を交へ慶尚の訛もあれば忠南の訛も交つて居つて純粹の平北の言葉ではないやうである其の風俗の如きも一樣でなく家々戸々に異なつた點があるさうだ。郡民は殆んど無論大部分農業であるが各地の貧困者が集まつて來て以來三四十年にしかならない所から金滿家なるものがなく一萬圓以上の資産を有するものはタッタ三名に過ぎないさうだ。

釋放される獨墺俘虜 思ひ〳〵の方向に

日本に止まる者三百餘名 ワルデックは最後の船で

陸軍省の發表に依れば去る廿六日神戸出帆の豐福丸にて板東習志野名古屋似島各收容所に在りし獨墺俘虜九百四十四名廿七日同じく神戸出帆喜福丸にて習志野似島青野原久留米各收容所に在りし九百四十四名廿八日

門司出帆

のヒマラヤ丸にて久留米習志野名古屋板東似島の各收容所に在りし九百五十八名は共に本國に向つて還送したるが猶明年一二月頃出帆の汽船に依つて殘留せられし獨墺俘虜ワルデック總督以下の高級將校…

曾て東洋

に家族を有せし者は同時に其の家族をも還送する筈なり尤も俘虜中日本領土内に居住を希望せる者三百五十名内外に及べるが之等の者には…許可し

明年早々

解放する豫定なり而して其内百五十名は悉く青島に赴くべき希望を有せり若干は最後の汽船にて還送せらるべく猶本國に還送せらることを欲せず支那印度方面に向け渡航の

希望ある

者に對しては先國政府の承認を經たる後協議の上渡航を許可すべき豫定なるを以て多分明年一二月頃に…あらざれば解放し難かるべし其人員の概算は支那へ渡航希望者は約百名にして蘭領印度へ渡航希望者は

約百五十

名に達せり 豐福丸喜福丸及びヒマラヤ丸は途中新嘉坡サバング。ポートサイドに寄航の上獨逸へ直航する筈なるも喜福丸は青島にヒマラヤ丸は上海に各寄航の豫定なりと

全北の猛獸狩

守備隊本社支局の主催

全州守備隊並に本社全州支局主催に係る全北猛獸狩大會は愈々來る一月三日及び四日の兩日全北新里（全州より二里）附近に於て一大猛獸狩を擧行する事に決定したり當日は横田守備隊長を長とし山本曹長氏並に正野分隊長佐藤憲三郎氏吉田勝馬氏等顧問となり民間有志多數參加の者にて各方面に亘て

大々的

に準備中なり當日の獲物一切は軍隊より自動車にて歡里附近に運搬し焚き出しを爲す事となり居れり終了後は五日正午參加者並に觀覽者一同に於て獲物を料理し守備隊構内に一大宴を張り

興餘を

添ふ筈なり此の擧が如何に大々的に且つ盛的壯擧なるかは想像するに餘りあり因に會費一圓五十錢申込所は守備隊又は京城日報支局三日前七時守備隊前集合直ちに出獲の筈にて申込期日は一日限りなり（全州）

御機嫌

好うと別れを惜む俘虜一行

左樣なら—

捕虜となつて五箇年の歳月を久留米捕虜收容所で佗しく暮した一千名の獨逸捕虜は今回本國へ歸還を許されたので大喜び何れもニコ〳〵もので懷しい故國の土を踏むの日を指折數へて待つて居る此捕虜は最初神戸から乘船本國へ向ふ筈であつたが都合があるので門司から乘船青島に

青島に殘

してある荷物行李荷物を受け取つて本國へ向ふ事となつた其中でアンデルス陸軍少佐以下九十八名は都合神戸から乘船する事となつたので前田中佐に引率せられ廿六日下關通過神戸に向つた

前田中佐

は語る『此捕虜一行は都合上神戸から喜福丸に乘船青島に向ふ事となつたので二十五日久留米收容所で柴師團長から告別式があつた。五箇年振で故國の土を踏むと云ふので夢中に喜んでゐた捕虜もイザ別れるとなると又感慨の深いものがあると見えて今更の如く收容所を

出たり入

つたり中には後返つて所長や所員の手を握り可憐に『左樣なら御機嫌よう』と挨拶を交す者もあつた』捕虜を乘せた列車が下關驛を發する際捕虜達は端港に心の思ひを託して久留米收容所長や所員へ宛て發信して居た捕虜の一員前の

支那稅關

官吏ビスチーユは云ふ『私達は日本收容所の親切であつた事を感謝します一同は本國へ歸還する事を喜ばしく思ひます私は歸還後機を見て再來し日本に住居したいと思つて居る』（關門支局）

惡番頭

七千餘圓を横領して蕩妓買

府内旭町一丁目百九十五番地酒本支店（本店は本町一丁目）酒店佐藤牧太郎方の店員として働けれ專ら鮮人間に於ける料理店を得意として取引を擔當中左記の如き横領詐欺をなし其金の大部は京城券花家の藝妓と遊興し鍾路署に檢擧取調べの結果二十五日檢事局に送られたる犯罪事實左の如し 本年四月より十月迄に觀他より受取り金百五十二圓五十錢同年四月より本年十二月迄に受取

受取金

百七十圓三十錢同瑞麟洞奉春により受取金九百四圓五十錢、本年二月中觀水洞大成館より五月大雅館より受取金二百八十圓二十錢、同瑞麟洞洗心館の分九百七十圓六十錢同永興館の分千四十圓八十七錢、同仁寺洞明月館支店の分五百六十五圓四十錢寬勳洞長春館の分二千二百十二圓四十五錢以上は何れも掛代金を横領し尚本年五月下旬黄金町

雅叙園

よりの注文を受けたりと稱しビール二百箱を持出し直ちに賣却代金の一部を主人に渡し殘金四百十二圓二十錢は雅叙園より未濟なりと欺き詐し六月には貫鐵洞新世界酒館の注文と稱し前同樣の手段にてビール百五十箱代五百三十九圓を十月末觀水洞鮮風館よりの

注文と

欺き清酒一樽を持出し賣却代金七十圓を此の外に用押し切り判を使用し領收證を僞造し之に上り主人を欺き居たりしが前記ビール代詐取に當りては殘て僞造し置きたる黄金町雅叙園及び貫鐵洞新世界の店の印を…被害總額は七千三百四十三圓餘に及べり

郵便も大雪に祟らる

當局大弱り

郵便も大降雪の影響を受けて仕事が捗くない京城局の一身退きして『二十九日は京釜線の車には何等の障害もなかつたらしい。其の遞便が來なかつたのは京城線が欠航したのです』とそれでも二十八日不通になつた南北は…の不通なこの故障は終絶した地方がありますに小包遞送の馬車で各地方に手分けを付ける筈です』

天佑!! 流感衰へん

近年稀な大降雪の爲 芳賀博士の談

總督府醫院長

平年稀なる大降雪で空氣の濕度が恢復し黄塵も鎮まつた、流行性感冒に付屬發熱があるか…醫院に芳賀博士を訪ふと依嘱中にも拘らず白い手術服を著けた博士は『降りましたね、何しろ京城は

二箇月も

雨が降らず空氣が猛烈に乾燥して居たから流感の猖獗は甚しくべきものであつた此際此大降雪は全く天佑と云つても好い雪は豐年の兆だと云ふが農作物のみに限らず流感にも確かに非常な効果がある、それで自分は、あの雪を天佑だと云ふのだ、聞けば廿八日京城府の流感

死亡者數

は非常に減少して居る、之は或は偶然の暗合かも知れないが或は又此降雪の影響かも知れない、確かに空氣の濕度は恢復したし埃は立たず又當分は積雪が日光に當つて蒸散するから一定の濕度を保ち遠からず流感は下火になることと信じてゐる、府内の…からも内地人の新患は滅切り減つた樣な然し

マスクの

使用は雪が降つても必要である、マスクは呼吸保護器であるから流感がはやらぬに拘らず小供や弱い人は是非中斷せずに續けて行くが好い、一方から云へばマスクなどは人間を弱くするものだが今年なぞは例外としてマスクの勵行を一般にお勸めしたい』

紅家奇聞 珍裁判

女判官尻尾を出す

…ついた醍居村から券番稽古場裏の改築家屋へ移り住んだ前日前に引移つて『先あ居心地の好い家だ』と主人も妓共も喜んで居たが、什麼した事か時々

猛獸が

板戸を搔き搦るやうな、又水を流す如な、バリ〳〵と只ならぬ音が二階でするので主人は不思議に思つて小首を傾げて居ると、妓共の代表格で八千代、おつやの兩妓が下りて來て『鳥渡二階に登つて下さい』この口上

何事が

起つたかと早速二階に登つた主人は『旦那はん便所を什麼かして』と言はれて能く種の音の正體が判つた。言はれる儘に覗いて見ると二つの二階便所は用達す毎にバリ〳〵と怪しい音を立てるので、之は又下に下つては詰もお了ひだとひだみかかと素人の破き抜きの打藥止めに御披露する。新町の券番の紅家では永らく居眞から觀察すると…

問題の

便所の鑿をさら改良した者がこそ思案中の其際身退きして『水でもお撒きなさい』と其妙は其値にして倍何うして二階は妓共達の寢所、犯人は必ずに小用を達して了つた者があつた。大騒ぎをした紅家一家、切りは其中こ話にも聞いた耶の如い小便裁判を開いた。裁判官には八千代おつやの兩名が推薦されたが何うしても

罪人が

出ない。（結局醉つて居た者の仕業と輿論が定まり、借當夜の泥醉者は誰かこなる、ナアーの兩名の中こ名指され、考へると自分達にも確更覺えがないでもない『危ないから採消しませう』は苦しい〳〵

臨時手傳に中學生十名

平壤局の試み 成績甚だ佳良

平壤郵便局の昨今は實に目の廻るほど多忙を極て居るが工事中の局舍も大體竣成し郵便室も廣くなつたから昨年末に比べると

執務上

非常に便利になつた然し時期が時期だけに忙しいのは昨年以上だと云ふことであるが加納局長は語る『今の處差出す方は既に於いて昨年と大差はない樣であるが差出人は大分増してゐる二十六日現在で約五十萬通に達してゐるがその數は更に角から觀察すると年賀郵便の出方が一般に早くなつたので郵便局としても非常に執務上

便宜で

ある二十六日から臨時手傳ひと實務の練習と云ふ意味で赤木校長と相談の上平壤中學校の生徒十名に手傳つて貰つてるが成績は極めて良い又一面本年は昨年に比し貸與金が多かつたので非常に喜んで居る其爲め年賀郵便の事務も餘程捗つて行くのは誠に結構である』云々（平壤）

揃ひの法衣姿で托鉢

下關阿彌陀寺住職の濟生資金募集

下關阿彌陀寺三十餘名の住職は事業經營の目的を以て資金募集の爲め明年一月六日を期し有三十餘名寺住職は揃ひの法衣姿にて市内を托鉢するよし（關門支局）

肉類賣出し 公設市場で

明治町公設市場にては廿九日より肉類を賣出したるが値段は左の通りで市價より一割五分くらい安値だと云ふ 牛肉ロース百目五十二錢▲上肉同四十二錢▲中肉同三十四錢▲コマ切二十六錢▲豚肉同四十二錢▲鷄肉同七十六錢

今月中の拾物

本町署に屆出た

押し詰つた年の暮に道行く人の落しもの拾ひ集めて本町署に屆出たものを見れば本月だけ（二十六日迄）で財布蟇口などに金入類が四十四件金高はザット百六十二圓六十四錢此の内一番多く入つて居たのは六十一圓之れは受取人が無いので毎日新聞に廣告して居る、其外には頭巾、足袋、ツルマキ、小供用帽子、襟卷、肩掛、首卷、羽織紐、眼鏡、帶留、煙草入（洋鐵）定規、カンザシ、提灯、灰皿、吹瓶、ゴム製の傘、笛、貯金通帳、小形火鉢、一寸風變りなものには煙管、包み少し金目の有るものは羽織指輪、時計などで右の内電車に置き忘れたものも大分多い

○上田大尉葬儀 二十六日永眠せる第二十師團勤務部上田一等大尉の葬儀は二十九日午後二時より龍山東本願寺に於て執行したるが部佐寺師團長代理其他多數の會葬者あり近頃の盛儀なりき

…宿泊 府内崇一…は已むを得ざるものな…十日より二十五日迄明治町二…目辻しま方に本町五丁目…番地玉突師韓慶洙（二四）及び妓生韓王順（二七）と共に投宿し尹丙慶…に依り拘留五日に處せられたり

內地旅行致候に付年末年始缺禮仕候
京城府旭町二丁目 杉山製作所 所主 杉山久

喪中に付年末年始の禮を缺く
京城府南山町二丁目五〇 野上忠三

發明世界
利有益一攫千金の新發明を満載 新發明の寶庫を開放して親讀者諸君を待つ
新得を…せんと欲する人々は速に必讀の好機關を座右に備へよ
▲毎月二回發行 一年分前金壹圓
東京上野池端茅町 發明世界社 振替東京二三〇三五一

喪中に付年末年始の禮を缺く
京城府通義洞拾五番地 小田保正

喪中に付年末年始缺禮仕候
大正八年十二月二十八日 岩崎廣太郎

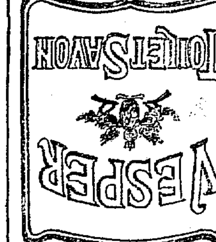
優等清酒

福岡縣三井郡山川村 釀造元 富安本店
京城永樂町二丁目 發賣元 富安支店
特賣御斷

名義書換停止
定款第拾四條ニヨリ十二月三十一日限リ株式名義書換ヲ停止ス
大正八年十二月二十日 朝鮮土地經營株式會社

內地御贈答 朝鮮名物 風味佳絕 絕好品
明太魚からすみ
漢陽高麗燒窯元 朝鮮物産商 海市商會
京城本町 電話二五〇番 振替京城一八

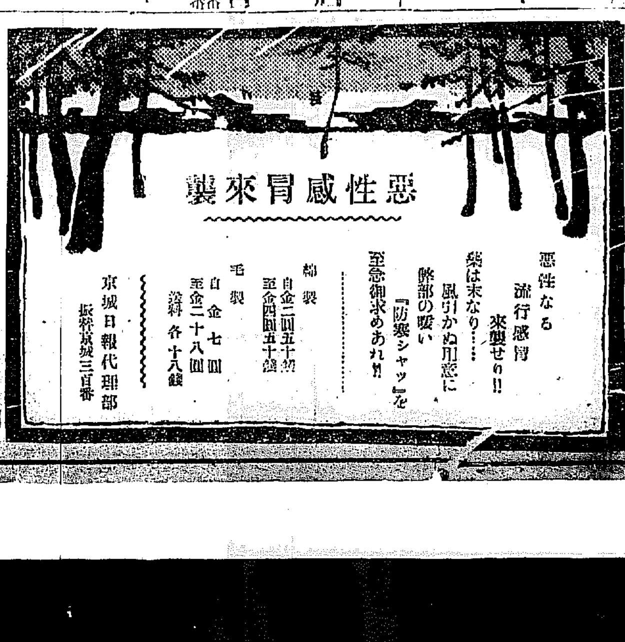
父の喪中に付年末年始缺禮仕候
新龍山 川崎永一

御化粧用 ベスパー石鹼


大連 萬玉洋行

▲▲ストーブ 各種各寸法 金鴨 著荷
和洋金物商 京城本町三丁目 佐藤牛次郎商店
電話二四三番 振替口座京城一〇五

移轉廣告
謹啓歲末御多用の御事と奉察上候陳者小生儀從來旅館營業罷在候處今回驛前大田館を讓り受け旅館と合併經營する事と相成候に就而は一層親切丁寧を旨として營業可仕候間倍舊の御引立を賜はり度伏して奉懇願候 敬白
大田驛前 大田館主 成松宇多吉
謹啓各位益々御清勝奉賀上候陳者小生儀永年大田館を經營仕り居候處今回都合に依り前記の如く一切の權利を成松宇多吉氏に讓渡致し候に就而は今後私同樣御愛顧御引立の程伏して奉願上候 敬白
大田館前經營主 鬼頭榮太郎



歸省中に付年末年始の禮を缺ぐ
大連三河町三十九號地 滿洲證券現物市場仲買人 ㊂都商會本店 林田文介
電話長二〇五四番 振替大連一四一番
支店 奉天浪速通

名の蜘蛛

江見水蔭　挿畫　近藤紫雲

「六十三」

銀座の銀線カフエーに珍らしく客の少い時が出來た。朝から雨が降つて、夜に入つては雪にまで成つた、酬い淋しく寒いので其爲に人出が少いのだと見ゆる。

其所へ大縞のマントで身を包み、チゴヤ帽子で顏を隱した一人が入來つた。

突如、ウヰスキーを命じて、生の儘で二三杯立つゞけに呷つて、それから大洋盃で生ビールを命じた。

受持にタンクが出てゐた。

『おい、姐さん、此家に小糸といふウエートレスがゐたんだが如何したね』と客は問掛けた。

『わ、小糸さんて云ふのはゐましたけれど、最う疾ツくにゐませんわ』とタンクは氣味悪さうに答へた。

『イヤ、それは知つてゐるんだ途中でゐなく成つたのはチヤンと御存じなんだが、それが此頃又舞戻つてるてね噂なんで、それを取調べに遣つて來たんだ』

『あ、それでは貴郎も間違へてゐらツしやるんですわ』

『なに。間違つてる？』

『克く似てゐるのですよ。年は若う御在ますがね』

『小糸の妹ぢやアねのか』

『さア如何ですか……』

『それを此所へ呼んで見れないか』

『今日は二階の受持ですから……』

『ちやア他の方から二階へ行かう』

うぢやアないか』

『二階？今、一寸……今ふさがつてますわ』

タンクは客の擧動から扮裝を見て、二階の客とするのを拒んだ。

『ふン、手前は俺を安く見やがるんだな。金なら持つてるんだ。腹掛の中でヂヤラ〳〵鳴つてるんだ。小錢の勘定にも關らず、銀貨で以て何でも支拂つて見せるんだ。紙幣なんか、憚りながら一枚も無いんだから』と痰火は切つて見せたけれど、腹掛のヂヤラ〳〵は聽かさなかつた。

『いゝね、安く見るも高く見るも御在ませんけれど……』と、タンクは少々恐れを成した。

『まア好いから、其小糸に似てゐるてぇ人に逢はして見んねえ』

『では、呼びますわ』

恐ろしく成つたのでタンクは然う云つて置いて、逃げるが如く此處を去つた。

酒が廻つたので少し暖かく成つたのか、帽子を取つた。ダムダム彈次の今夜の顏には凄味が加はつて見えた。

『おい、ウヰスキーだ。ウヰスキーを持つて來んか。ジンが有るなら、ジンでも好いんだ』

怒吼的に呼はつた。

酒場ボーイには聽えたけれど、事面倒と見て聽えぬ振りをしてゐる。

女給仕は皆避けて、近くには一人も居らぬ。

『畜生！冷遇しやアがるんだな見てろ、今に如何するかッ』

然う云つてゐる處へ、龍子が二階から降りて來た。

これはタンクから敎へられた譯では無く、自分の用で降りて來たのだ。タンクは無責任で、唯一時のがれに龍子を呼んで來ると云つて二階へ上がつたので、此處で龍子に出會したら、僞言もしたらうが、見ないかつたので、其儘或る客の室に入つて、話し込んで了つたのだ。

龍子は、若し、然うした亂暴の客がゐると知つたら、決して下へは降りて來なかつたのだ。

外國人土地法

更改正提出

修正可決の上貴族院を通過し後法律として公布せられたるも其の施行細則を規定するに當り之を實施するに困難なる所ありし爲遂に該施行細則を制定するに至らず、而かも法律其もの々に缺陷ありて、之れが細則を規定することの必要を感ずるに依り殆ど同法の完成を見たるを以て政府は過般更に本法の更改正案を作成して政府は愈々今期議會に提案することに確定した而して主旨は所謂相互主義の上に一致せざりしに依るも其外の意味間題等に依りても易に一致せざる點なる點に於て因はれ居る爲で、理由は同法の規定する所謂相互主義の根據……

支那人は事に依ると云ふ所…（判読困難）

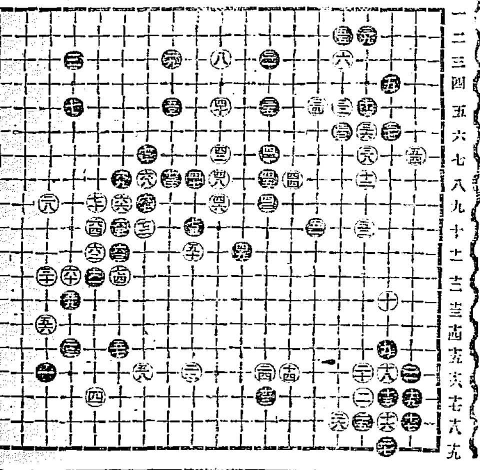
揚げたるが原産事業鉛は近日中に採掘場の鉛全部の搬出を了し大月上旬より大規模の着手を爲す

圍碁新局（五）

（十一月中旬於本社主催圍碁大會）

五段　瀬越憲作氏
先三段　中村善一郎氏

●	六一	よ十二
○	六二	よ十一
●	六三	か十一
○	六四	よ十
●	六五	か十
○	六六	か九
●	六七	わ九
○	六八	わ八
●	六九	か八
○	七〇	よ九
●	七一	わ七
○	七二	わ十
●	七三	を八
○	七四	か十二
●	七五	る十



小學校教員に五百圓を贈た

‖森岡辯護士の篤志‖

平壤の辯護士森岡二三君は二十五日午前十時頃平壤尋常小學校に一事務員を常に携帶する事務用の古鞄より百圓紙幣五枚を取り出し校長川添訓導に向つて之は輕少ですがクリスマスの贈り物として女の先生に二百圓男の先生に三百圓を差上げたいとて卓子の上において川添校長は種々と辭退したが

川添氏へ贈呈したいといふことは已に小學校教員の待遇に聊か一贈するところがあつたのであらう、殊に同小學校には森岡氏の令息令孃等二人も在學して居らぬのである（平壤）

クリスマス　の贈り物

は只管に此の話を川添校長より聞いた記者は此の誤解を解く爲に森岡氏の事を紹介しようと森岡氏は當年三十二歳東京帝大出身の法學士で卒業後大阪で辯護士を開業し大正三四年の頃當平壤に來た人であるが常に撒門に詔はず悪衣悪食を恥ぢぬ熱心なる

耶蘇信者で

ある然し作ら宗教に心醉せず常に法律以外社會學殊に實社會の研究に努力し新しい歐米の圖書を購入し石油の空箱に積み込んで業務の餘暇あれば之を繙讀して專ら常識の修養に努めてゐる人であるが從來身體虚弱の故を以て昨年平壤乘馬會の設立と共に運動にも趣味を有し夙に

早朝より熱心

に乘馬の稽古を爲せるが憾ふに辯護士としての氏は一寸現代に見ることの出來ぬ人である大正六年一月迄の新年祝賀會に氏は縞のワイシャツに縞のネクタイを結んで牟綟色のフロツクコートを著用して敢て意に介しないといふ人であるが今日まで民刑、訴訟事件に就いて貧困なる被告人の爲めには

無料辯護

を爲したる事も尠からぬ篤志家である、同氏が今回クリスマス贈り物として五百圓を平壤尋常小學（職員）

其夜の或る戲作家

瀬野寛郎

何處にか消えてゆく若き其夜の惱みー呪はれたる戲作家が不幸な運命に陥りて落葉の亡骸をふみしだき煩悶に惱まされ絶望に嘆き小唄が森に一

道慈惠病院増設を望む

大田　社會研究生

燦爛たる文化の昂進は吾々人類の最も誇るべき權威にして益々社會の神秘し經世濟民の爲めに大なる使命を有する上に於て人命の重きを保護するを以て任する醫術に於て近時益々世界的研究發表せられ其の技能殆んど神の聖に近き域に進ましめさせる眞に驚異とすべきものあり時世の推移は故人の夢とせる不老不死の靈藥も敢て恃むに足らざるものあらんとす

此の時に當り我政當局者は朝鮮十三道交通の重要なる中樞地に於て更に慈惠病院を增設し大いに吾々在鮮民の爲めに濟生の門戸を開かれんとする民心の安住と民福の增進上に於て大に有効にして吾人は極めて論快とする所なり然りと雖未だ此の施設地の裏なきは靴を隔てゝ足痒を搔くに似たり勿論慈惠病院の施設は地方の人口の多きに於て全鮮稀に見る新發展地大田に於て必要なることは今更言を要せざる所なり雖も現下最も不完全なる醫院を有する大田全市民の痛切に感ずるは異口同音にして日夜當局の英斷を待ちつゝあるものなり願はくは當局の英斷速かに大田地方民に安定を得せしむべく設定發表の福音を傳へられんことを懇請し併て歡迎の意思を表白する所以なり

詩壇漫言

愈々大正八年も殘り少い。詩壇の隆盛である、と云つた處でまだ日も淺い歷史しか持たないのだからあまり多くな言ふ事を許されて居ない。勿論多くを言ふ必要もないらしい只要は永遠への此點の中に然と血と涙との收獲を得る事が出來ればい、それが我等の生命である、そうした心持の底からなだらかな落着きのあるリズミカルな詩を渡む時にわたし達の心は常に自然の惠みを感謝しつゝ生きてゆく事が出來るのだと思ふ、逝く年への愛著も淡い未練も迎ふべき年への新らしい希望の前には忘れもし、捨てもしなければならない。そうして、わたし達は再び來たるべき年と共によりよくヒユーマンな修得的學習に依つて屏かれた自分を發見する事に努力しなければならない、そこにわたし達の生活を育しむ理由もある譯である切に詩壇諸君の幸を祈る（草人）

眞紅の血を吐き死せしも其夜若き戲作家が終に姿にそは新月の夜

淡くも白き北斗星は泣いて夢幻の時は走りぬ

されごー

あ、何處にか消えてゆく若きその夜の思ひ出よ

……絶惱よ

（八、一二、二八）

新刊紹介

▼婦人雜誌（新年特別號）優美なる彩色謹寫の書籍數十、讀み物も例により趣味と實益に富めるもの滿載す（一冊東京々橋區松町一東京社）

▼花形（二の一）瀟洒なる演藝雜誌にして雨から内容充實し且つ極めて多趣味に富む顧版も亦多し（六十錢東京芝公園文藝社）

▼中學講義錄（十一號）國民中學會發行、同田誠も見るべき雜誌

▼新國民（十二月號）東京神田駿河臺共社

▼日本勞働（十二月號）三十錢東京本所北二葉八其社

▼實業界（十二月號）三十五錢大阪北區若松町二十六其社

▼醫業新報（十二月號）三十三錢東京日本橋濱町十四其社

▼臺灣時報（十二月號）二十五錢臺灣總督府内其社

▼滿蒙研究彙報（四十四號）・旅順乃木町其社

▼刀の研究（十二月號）五十錢東京下谷茅町二の三其社

▼朝鮮藥業會誌（十二月號）四十錢京城南米倉町四其社

ユートピア

一名金屬磨液

眞鍮、銅、ニツケル、錫、金銀其他總テノ金屬チ擦ムル手數ヲ不要品質ノ損ムコトナク、然モ曾テ巫離ナリ故ニ御家庭ノ常備品トシテ一般ニ歡迎セラル

定價　半磅六十錢　一磅一圓　送料十八錢

京城日報社代理部　振替京城三〇〇

○三百番香水

贅澤で經濟で、而して最も優良な

（現品寫眞）

定價　小壜一圓二十錢　中壜　大壜　內地送料は別に申受候

三百番香水は優雅な香で長い時間香を保つもので香は人によつて、嗜好を異にして居るから、六種の香を異にするものを拵へ致して、更に追々種類を殖やさうと云ふ計畫である。香水は折角高價を拂つても、其香が嗜好に合はない場合が多い。三百番香水は一罎毎に小罎の見本を添へてあるので、お嗜好に合ふものが選べる便利がある。一體普通香水は容器の裝飾や飾る爲に餘計に高價なものになる弊があるが、三百番香水は正味のみを目的として居るので、自然價格も無類の低廉なものになつてゐる。

ヴアイオレット（すみれ）
ローズ（ばら）
リリー（ゆり）
ミモザ（花の名）
ゲット（花の名）
ブーケー（花たば）

ミツワ石鹼容器

みつわ・しやぼんいれ

體裁優美高尚にして理想的の

（現品縮寫圖）

定價　金武拾五錢　内地以外は別に送賃を加ふ

從來の石鹼容器は、大抵金屬か陶器ですが、價格が高かつたり、構造が惡かつたりして、或は錆を生じ、或は水切がよくない爲に、石鹼が溶け崩れたりする缺點が多いのであります。此等の缺點を矯へて完全に製造されたものはミツワ石鹼容器であります。陶器ではあるが、品質は極めて堅牢體裁は頗る優美、以上の缺點は毫末も無く、優良無比の品質を具備してゐるミツワ石鹼の容器としては最も理想的適當なもので、家庭用、旅行用、浴室用として、極めて完全優秀なものであります

○ミツワ水枕

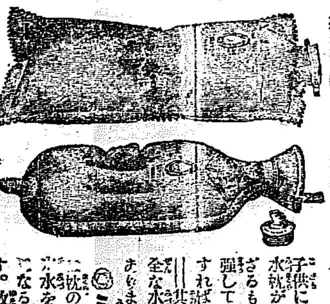
みつわ・みづまくら

凡ての家庭に必ず二個の水枕を備へざる可らず

定價　大形　金壹圓貳拾錢　中形　金壹圓八拾五錢　小形　金壹圓五拾錢　内地以外は一般送賃を加ふ

子供に熱の出た時などには水枕が最も必要缺くべからざるものです‖學生が勉強して疲れた時など氷枕をすれば忽ち元氣回復します‖其水枕の中でも特に完全な水枕は◎ミツワ水枕であります。

◎ミツワ水枕は一枕の內に觀壁を設け中へ水を入れると自然に四形になるやうに製してあります。故に兩端が高く中央が凹んで居ますから頭を冷す力が最も完全で、締金も汲多年苦心の結果漸く案出したもので、素人にも御婦人にも容易く使用る事の出來る誠に理想的のものであります



（特製縮寫圖）　（大形縮寫圖）

發賣元——製造發賣所　大阪　丸見屋商店謹製

大正九年　國民日記

定價金壹圓　送料金拾錢

日記界の權威者出づ！完全完美せる本記は愈々熱狂的大歡迎を受けつゝあり此際至急座右に備へ其の眞價を味はれよ！殘部僅少!!

發賣元　合資會社京城日報社代理部
取次販賣所　大阪屋號、廣松堂、日韓書房、ウツボヤ、京日各支局

醫療化學諸器械一式

藥種賣藥卸商

Ⓚ

仁川本町　北島藥店　電話三四・振替京城六七番
京城本町　永樂町角　北島藥店京城支店　電話七六一番

冬!!旅行ニハ是非

□東京特製トランク
□弊店特製トランク
□柳織專賣トランク
□二枚續毛布及ヒザ掛
□其他旅行用具各種

京城本町一丁目
高木鞄店
電話二五四番

サクラ正宗

宮內省御用達

兵庫縣灘魚崎　山邑酒造株式會社釀造

優良正宗　發賣元　京城明治町二丁目　山邑酒造株式會社京城支店　電話長八四九番・一四五四番　振替貯金口座京城七五番

◎火災恐るべからず

◎不用意恐るべし

諸君の部落には完全なる消防組の設備ありや

（ポンプカタログ進呈）

京城　熊平支店
電話長一六二一番
振替京城二三四番

卵形無煙煉炭

木炭の半額であり頗る經濟な

用途　火鉢、火燵、燒爐代用として他に比類なき頗る經濟な

定價　一箱（凡四百個入）金壹圓參拾錢

石炭燃燒時間拾時間一定の高熱を保つ

ピッチ入卵形無煙煉炭

平壤無煙炭・卵形無煙煉炭・安州無煙炭・燐寸附瓦斯炭

卵形煉炭販賣所　京城太平通一丁目　朝鮮煉炭株式會社京城特約販賣所　電話長二七番

西崎商會　倉庫南大門支店　電話一二七番　電話一四七〇番

朝鮮銀行

資本金　四千萬圓
拂込濟資本金　參千萬圓
積立金　四百貳拾壹萬八千圓

總裁　美濃部俊吉

預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務並朝鮮滿洲及浦潮斯德ニ於テ金庫事務ヲ取扱申候

支店出張所及派出所
內地　東京　大阪　神戸　下ノ關
朝鮮　釜山　仁川　平壤　鎭南浦　元山　群山　木浦
滿洲　大連　旅順　營口　安東縣　奉天　奉天新市街　鐵嶺　開原　四平街　長春　吉林　龍井村　哈爾賓　傅家甸　齊々哈爾
支那　上海　天津　青島　濟南
浦潮斯德
（交換所）（街道）（松田商行）ブラゴウエシチエンスクハバロフスク

右ノ外倫敦、紐育、巴里其ノ他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

ツ　參エキス

陸軍御用

各支店及全國有名なる藥店に販賣仕居候

御用の節は最寄の藥店に品切の節は本店へ御注文願上候

朝鮮京城本町　津村兄弟商會
電話八〇三番　四八一一番　振替京城二一五一番　電略（ツ）（ツバスム）

新荷揃　不知火

專賣特許　不知火は在來の石油焜爐の如く時の來客其他火急の場合にも不便な物でなく旅行やも湯を沸すに便利で御座敷の上で即席に沸も御馳走も出來る品

▲此の圖は旅行用三號

定價
家庭用　四號　五十錢
旅行用　三號　三圓五十錢
同　二號　三圓五十錢
同　湯沸　四圓五十錢
不知火の素　一圓五十錢
五ポンド　二十錢
二百匁入　五十錢

小包料　二十七錢以上

其の他鍋拔皿拔等も取揃へ居外

發賣所　京城太平通　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

銚子醬油株式會社釀造

千葉縣銚子港

宮內省御用達

ヒゲタ醬油

代理店　京城明治町二丁目　山邑酒造株式會社京城支店　電話長八四九番・一四五四番　振替貯金口座京城七五番

尼崎汽船出帆

○大阪行
赤城丸　十二月　日後四時出帆
一心丸　十二月　日後四時出帆
神代丸　十二月　日後四時出帆
秀吉丸　十二月　日後四時出帆
君が代丸　十二月　日後四時出帆
大有丸　十二月　日後四時出帆

○印船客御斷　仁川海岸通一丁目　高杉回漕部　電話二九番

大阪商船出帆

仁川出帆

本浦大阪行
安東丸　十二月　日後四時
信濃川丸　十二月　日後四時
大阪行
大進丸　十二月　日後四時

安平行
安平丸　十二月　日後九時出
山門司、宇品、神戸、大阪行
丸十二月　日後十二時

上海、北隆、打狗行
基隆丸　十二月　日前六時出帆

歐洲行　毎年四回　北米行毎月一回　南米行毎年四回　濠洲行　毎月一回　南洋行　毎月一回

御注意　運賃割引御客様の手荷物の御取扱等は仁川支店へ

大阪商船株式會社仁川支店　電話二〇番

釜山港出帆廣告

釜山　大池回漕部　電話三番

第一濟州丸　元山、西湖津、新浦、城津、清津行　十二月　日午後六時

第三濟州丸　門司、宇品、神戸行　十二月　日午後六時

朝鮮郵船出帆

敦賀行　浦汐行　雄基行　平安丸　雄基丸　忠清丸　元山雄基線　鏡城丸　大阪行　開城丸　平壤丸　京畿丸　濟州島行　昌平丸　平安丸　東興丸　慶州丸　木浦行　江原丸　宗信丸　大連行　仁川行

本社　京城南大門通
釜山佐藤町　元山海岸通　仁川代理店　木浦代理店　京城南大門取扱店

其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ